



神奈川県
平塚保健福祉事務所

平成29年度 (2017.4~2018.3)

平塚保健福祉事務所年報

目 次

ご利用にあたって	1
第1章 概要	
1 地域の概況	4
2 平塚保健福祉事務所の概況	6
第2章 生涯を通じた健康づくり対策	
1 保健福祉サービス連携調整会議	10
2 保健師活動	10
3 栄養・食生活対策	13
4 歯科保健	19
5 母子保健	24
6 職域保健	29
7 認知症疾患対策	31
8 メンタルヘルス	32
9 エイズ対策	36
10 結核予防	37
11 感染症予防	39
12 難治性疾患対策	42
13 肝臓疾患対策事業	44
14 原爆被爆者援護	45
15 アスベスト（石綿）に関する相談	45
16 健康保持増進	46
17 受動喫煙防止対策	49
第3章 暮らしを支える福祉サービス	
1 地域福祉	52
2 介護保険	55
3 福祉の貸付	56
4 生活保護	57
5 特別障害者手当等の支給	59
6 女性保護、母子・父子福祉	60
7 児童福祉	61

第4章 保健・医療・福祉の基盤づくり

1	湘南西地区保健医療福祉推進会議	64
2	地域医療連携の推進	65
3	高齢者保健福祉計画の推進	66
4	健康危機管理	66
5	人材育成	68
6	医務・薬務	70
7	献血	74
8	免許取扱事務	75
9	保健衛生等表彰	76

第5章 健康で安心できる生活衛生対策

1	環境衛生営業施設等	80
2	生活環境施設	81
3	動物保護	83
4	毒物劇物、麻薬取扱施設等	83
5	食品衛生	85

資料

1	平塚保健福祉事務所の沿革等	92
2	市町における健康診査実施状況	95
3	職員研究論文等一覧	98

《 凡 例 》

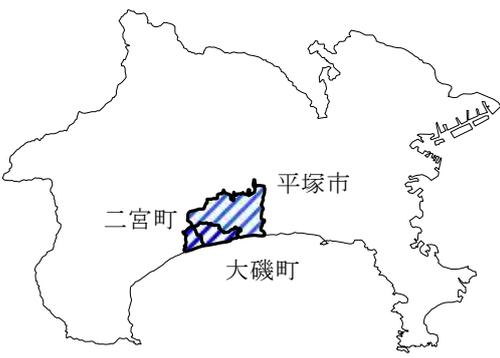
- ・本書は、平成29年度の数値を記載したものです。それ以外の数値の場合、表右上に時点を示しています。
- ・本書中の各項目の〈 〉内は、その業務の担当課を示しています。
- ・本書中で使用した一般的な記号の用途は次のとおりです。
「空欄」 …計数のない場合
「 0 」 …小計、合計、総計、及び総数に計数のない場合
「 \ 」 …計数のあり得ない場合
「※」、 「注」 …注意及び特記事項

ご利用にあたって

本年報は、平成29（2017）年度の平塚保健福祉事務所の事業内容を取りまとめたものです。当保健福祉事務所の所管区域（業務の対象とする市町）は、「保健所としての業務」及び「福祉に関する事務所としての業務」ごとに対象としている市町が異なっており、具体的には下記1の表のとおりです。

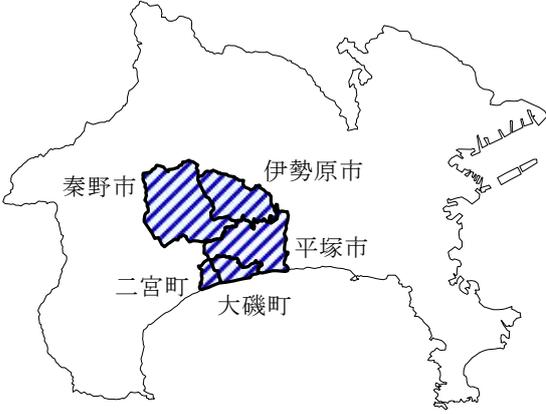
また、当保健福祉事務所が受け持っている「二次保健医療圏」等の区域（対象とする市町）は、下記2の表のとおりです。

1 平塚保健福祉事務所の所管区域

区 分		対象市町名	
平塚保健福祉事務所	「保健所」としての業務	平塚市 大磯町 二宮町	
	「福祉に関する事務所」としての業務	大磯町 二宮町	

- ※ 小児慢性特定疾病医療費の申請は、藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡（寒川町）を含む
- ※ 介護保険事業者指導は、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、高座郡（寒川町）を含む
- ※ 受動喫煙防止条例は、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、高座郡（寒川町）を含む

2 二次保健医療圏等

湘南西部地区二次保健医療圏	平塚市	
湘南西部保健福祉圏域	秦野市	
湘南西部障害保健福祉圏域	伊勢原市	
	大磯町	
	二宮町	

第1章

概要

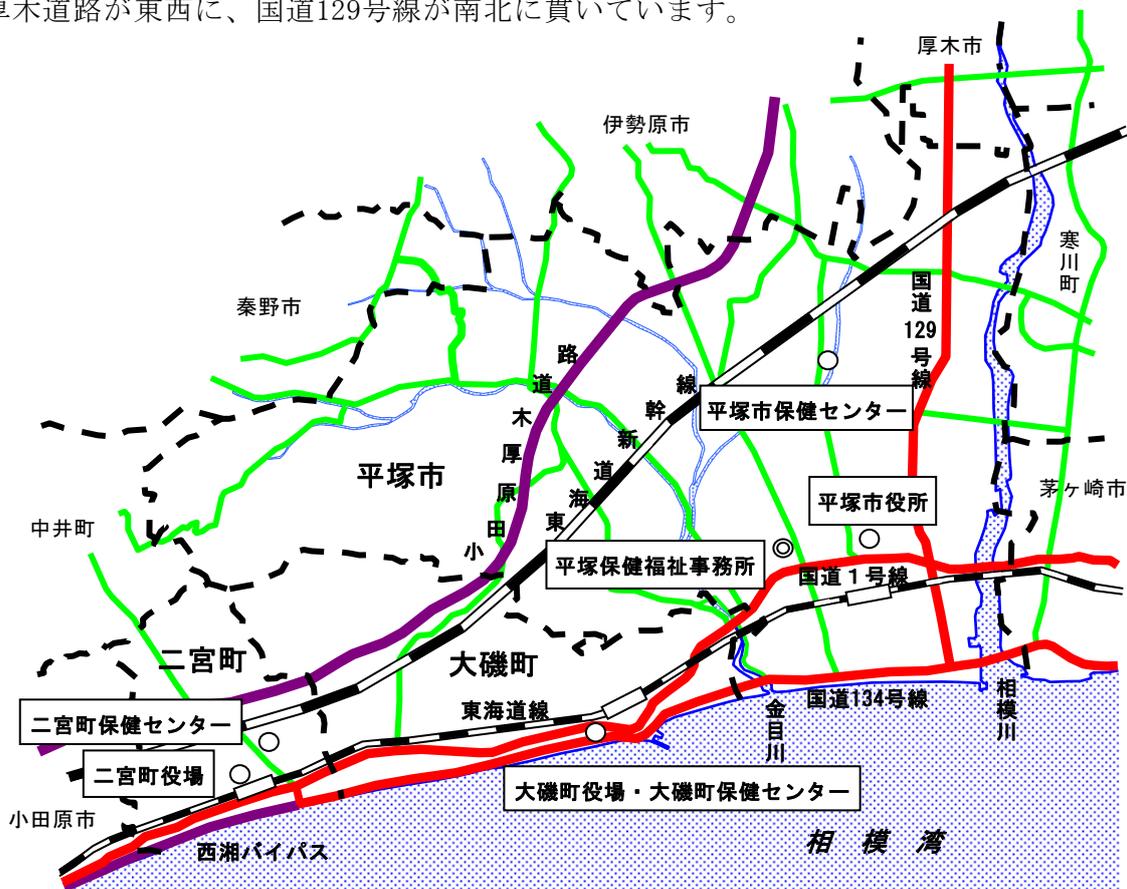
- 1 地域の概況
- 2 平塚保健福祉事務所の概況

1 地域の概況

当所の管轄区域は、平塚市、大磯町、二宮町の1市2町で、神奈川県南部のほぼ中央に位置しており、東は寒川町、茅ヶ崎市に、西は小田原市、中井町に、北は秦野市、伊勢原市、厚木市にそれぞれ境を接し、面積は94.07km²で、県の総面積の約4%を占めています。

地域の北西方向には丹沢・大山山麓が連なる一方、南は相模湾に面して湘南海岸が広がり、温和な気候と恵まれた自然にあふれた地域です。また、一級河川の相模川が地域の東側を流れるとともに、二級河川の水系が地域のほぼ全域を流れており、平坦で肥沃な土地が続く、本県農業の中心となっている一方、産業、研究機関の集積も進んでいます。

交通は、JR東海道線が海岸線を東西に貫くとともに、国道1号線、134号線、小田原厚木道路が東西に、国道129号線が南北に貫いています。



(1) 管内人口及び世帯数等

ア 面積、人口、世帯数

(平成29年10月1日現在)

区分	面積 (km ²)	世帯数	人口			人口密度 (人/km ²)	一世帯当 たりの人員
			総数	男	女		
平塚市	67.82	109,938	258,439	129,635	128,804	3,811	2.35
大磯町	17.18	12,491	31,449	15,347	16,102	1,831	2.52
二宮町	9.08	11,306	28,010	13,480	14,530	3,085	2.48
管内計	94.07	133,735	317,898	158,462	159,436	3,379	2.38

(「神奈川県的人口と世帯」より。面積は「全国都道府県市区町村別面積調」より。)

※ 平塚市と大磯町の境界は未確定のため参考値 ※面積 中郡計26.25km²

イ 年齢階級(3区分)別人口と割合

(平成29年1月1日現在)

区分	総数	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年齢不詳 人数
		0～14歳		15～64歳		65歳以上		
		人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	
平塚市	258,141	31,023	12.1	156,678	61.1	68,618	26.8	1,822
大磯町	31,522	3,560	11.5	17,011	55.1	10,277	33.3	674
二宮町	28,186	3,006	10.7	15,751	55.9	9,427	33.4	2
管内計	317,849	37,589	11.9	189,440	60.1	88,322	28.0	2,498

(「神奈川県年齢別人口統計調査」より。)

※ 総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分構成比は年齢不詳を除いて算出している。

(2) 管内市町人口動態件数

(平成28年現在)

	出生		死亡		乳児死亡		死産		周産期死亡		婚姻		離婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平塚市	1,693	6.6	2,500	9.69	0	0	23	13.4	3	1.8	1,100	4.3	445	1.72
大磯町	188	6.0	348	11.06	0	0	5	25.9	0	0	92	2.9	36	1.14
二宮町	160	5.7	318	11.26	0	0	3	18.4	0	0	86	3.0	36	1.27
管内計	2,041	6.4	3,166	9.96	0	0	31	15.2	3	1.5	1,278	4.0	517	1.63

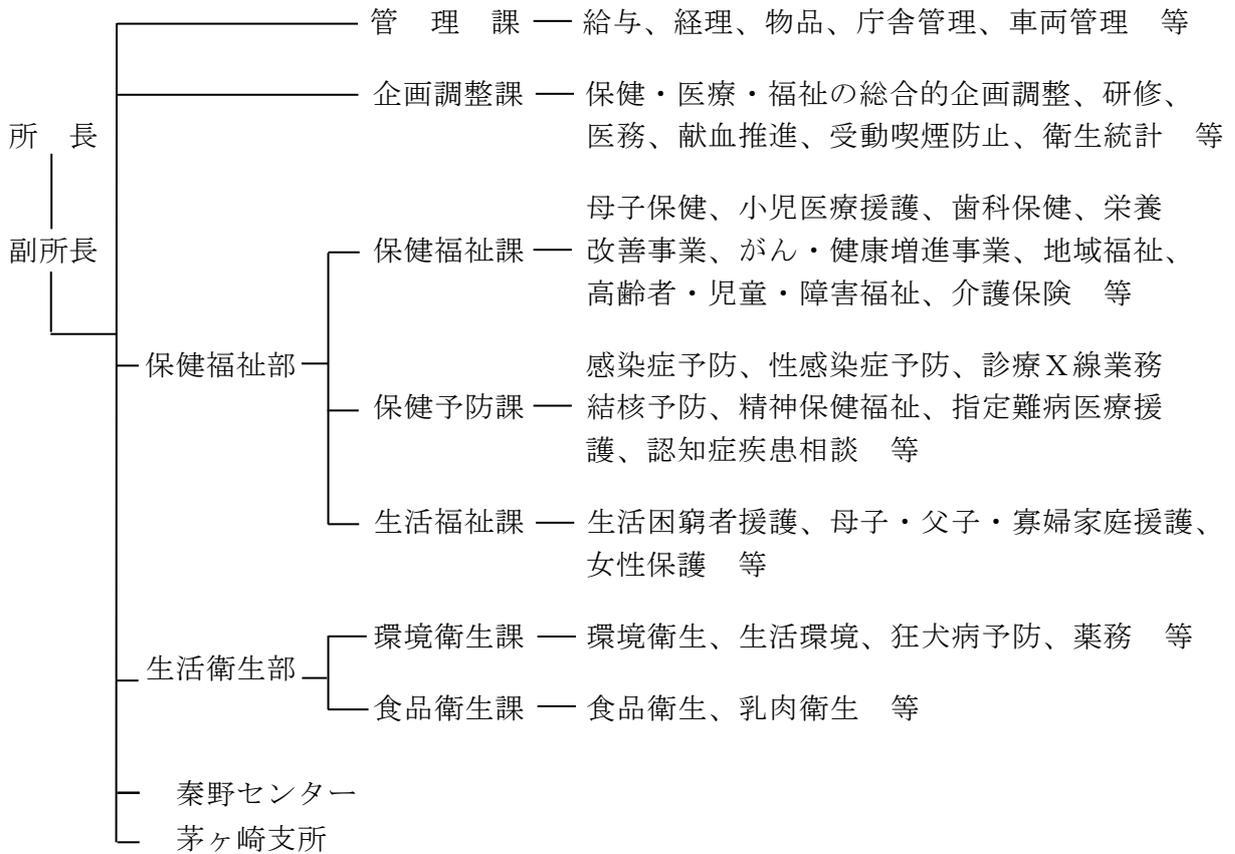
※ 出生率及び死亡率、婚姻率、離婚率…人口千対

乳児死亡率及び死産率、周産期死亡率…出生千対

2 平塚保健福祉事務所の概況

(1) 組織機構

(平成30年4月1日現在)



(2) 職員配置状況

(平成30年4月1日現在)

区分	一般事務	福祉	医師	歯科医師	歯科衛生士	診療放射線技師	栄養士	保健師	狂犬病予防員	衛生監視員	小計	再任用職員	臨時任用職員	非常勤職員	小計	合計
所長			1								1				0	1
副所長	1										1				0	1
部長								1		1	2				0	2
管理課	3										3	1		2	3	6
企画調整課	5							1			6	1		2	3	9
保健福祉課	10	1		1	1		2	5			20		2	1	3	23
保健予防課	2	2	2			1		5			12		2	5	7	19
生活福祉課		8									8		1	6	7	15
環境衛生課									1	4	5	1			1	6
食品衛生課										8	8					8
合計	21	11	3	1	1	1	2	12	1	13	66	3	5	16	24	90

(3) 収入・支出決算額

収 入		支 出	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
保健所費使用料	33,897	一 般 管 理 費	21,459,669
公衆衛生費手数料	3,896,790	人 事 管 理 費	10,000
環境衛生費手数料	12,237,130	財 産 管 理 費	2,730,240
医 薬 費 手 数 料	3,846,530	社会福祉総務費	115,778,520
環境衛生費寄附金	2,001	児童福祉総務費	1,637,931
保健所費立替収入	42,118	児 童 措 置 費	6,410,568
民 生 費 雑 入	14,073,488	母 子 福 祉 費	14,874
衛 生 費 雑 入	6,300	障 害 福 祉 総 務 費	12,871,110
		老人保健福祉総務費	606,540
		介 護 保 険 事 業 費	250,055
		生活保護総務費	16,445,334
		扶 助 費	436,017,628
		公衆衛生総務費	2,081,164
		予 防 費	3,224,497
		精神保健福祉費	1,423,116
		生活習慣病対策費	226,000
		衛 生 研 究 所 費	21,000
		生活衛生指導費	810,720
		保 健 所 費	19,438,588
		医 務 費	589,100
		薬 務 費	220,084
		人権男女共同参画費	4,223,158
		大気水質保全費	11,000
		廃棄物対策費	253,260
		貸 付 事 務 費	435
合 計	34,138,254	合 計	646,754,591

第2章

生涯を通じた健康づくり対策

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 保健福祉サービス連携調整会議 | 10 結核予防 |
| 2 保健師活動 | 11 感染症予防 |
| 3 栄養・食生活対策 | 12 難治性疾患対策 |
| 4 歯科保健 | 13 肝臓疾患対策事業 |
| 5 母子保健 | 14 原爆被爆者援護 |
| 6 職域保健 | 15 アスベスト（石綿）に関する相談 |
| 7 認知症疾患対策 | 16 健康保持増進 |
| 8 メンタルヘルス | 17 受動喫煙防止対策 |
| 9 エイズ対策 | |

1 保健福祉サービス連携調整会議

＜保健福祉課＞＜保健予防課＞

各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、管内における関係機関・団体等で構成する各種協議会・委員会を総称するものです。各委員会では、それぞれの課題について検討し、業務の推進を図っています。

区 分	委員数	開催回数			担 当 課
		委員会	部会等	セミナー 研修会等	
難病対策地域協議会	28	1			保健予防課
母子保健委員会	19	1	1		保健福祉課
地域食生活対策推進協議会	17	1	3		保健福祉課
地域精神保健福祉連絡協議会	16	1			保健予防課
歯及び口腔の健康づくり推進委員会	12	1	2		保健福祉課

※ 各委員会等の内容は、各事業の項に掲載します。

2 保健師活動

＜企画調整課＞＜保健福祉課＞＜保健予防課＞

保健福祉事務所と市町の保健師の連携強化、保健指導技術の向上を図るため、会議や研修会等を開催しました。保健福祉事務所と市町における保健師の業務に関する役割分担の明確化を図るとともに、相互の業務について一層の理解を深めるよう努め、連携の強化を図っています。

(1) 地域保健師業務連絡会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
5月29日	<ul style="list-style-type: none">大規模災害発生時の保健活動における県と市町の連携について新規事業・重点事業について統括保健師について地域保健師業務連絡会議について	平塚保健福祉事務所	18

(2) 研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
7月20日	ブロック研修会※ ・各機関における災害時保健師活動紹介 ・グループワーク ・まとめ ・広域災害救急医療システム（EMIS）概要 助言者 神奈川県立保健福祉大学 北岡 英子教授	茅ヶ崎市保健所講堂	36
11月27日	ブロック研修会※ 中堅期・管理期保健師研修 ・講演「職場における人材育成のしくみを考える ～地域診断・PDCAサイクルの手法を用いた 人材育成計画～」 講師 東京家政大学 米澤純子准教授 ・グループワーク	神奈川県看護協会キャリア支援センター研修室3	13
11月27日	ブロック研修会※ 新任期研修 ・講演「地域診断・地区活動を通して健康課題をつかむ ～地域を「みる」視点をみんなで養おう～」 講師 東京家政大学 米澤純子准教授 ・グループワーク	神奈川県看護協会キャリア支援センター研修室3	11

※ 平塚・鎌倉保健福祉事務所、三崎センター合同実施

(3) 家庭訪問

区分	感染症	結核	精神障害	心身障害					生活習慣病		難病	小児特定				その他疾病	未熟児		妊産婦	その他	合計
				1歳未満	6歳未満	18歳以下	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上		1歳未満	6歳未満	18歳未満	18歳以上		1歳未満	1歳以上			
訪問件数	18	177	48	0	0	2	0	0	0	23	39	0	36	10	0	6	0	0	0	0	359
合計	18	177	48	2					23		39	46				6	0		0	0	359

(訪問内容別再掲)

区分	精神障害			難病（特定疾患）					介護保険		児童虐待	小児アレルギー疾患			高齢者虐待
	社会復帰	老人性認知症	アルコール	膠原病	血液系	循環器	神経系	消化器	専門調査	苦情等調査		喘息	アトピー性皮膚炎	アレルギーの疑い その他	
訪問件数	0	1	1	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2			39					0		0	0			0

(4) 所内指導

区分	感染症	結核	精神障害	老人性認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊婦	産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康相談	その他	合計
面接	26	134	97	6	0	8	5	55	28	0	0	0	0	0	1	1	226	1	0	588
電話	371	347	509	43	0	17	31	365	98	5	5	2	0	2	1	20	70	27	30	1,943
文書・メール	11	19	2	2	0	1	0	46	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	84
合計	408	500	608	51	0	26	36	466	127	5	5	2	0	2	2	23	296	28	30	2,615

(5) 管内保健師設置状況

(平成29年4月1日現在)

区分	平塚保健福祉事務所				平塚 児童相 談所	平塚市、大磯町、二宮町					合計
	部長	企画調整課	保健福祉課	保健予防課	子ども支援課	地域保健担当課	介護保険担当課	障がい福祉課	保険年金課	職員課等	
平塚保健福祉事務所	1	1	5	6							13
平塚児童相談所					1						1
平塚市						25	1	1	0	1	28
大磯町						5					5
二宮町						5					5
合計	1	1	5	6	1	35	1	1	0	1	52

3 栄養・食生活対策

＜保健福祉課＞

個々のニーズに対応した問題及び地域社会に共通した課題等、生涯を通じた健康づくりのため、栄養・食生活改善の充実強化、食環境づくりの整備さらに各種関係機関との連携や基盤整備を図ることを目的として、地域食生活対策推進協議会の開催、栄養表示の指導、特定給食施設の指導等を実施しました。

(1) 地域食生活対策推進協議会

予想される大規模災害発生時において、人的支援を受け入れ、被災者支援につなげる具体的な体制整備のための課題を抽出し、今後必要な市町災害時栄養食生活支援（受援）について検討することを目的に、地域食生活対策推進協議会及び部会を開催しました。

ア 協議会

月 日	内 容	会 場	出席者数
1月25日	1 災害時に必要な栄養・食生活支援（受援）について (1) 災害時に必要な栄養・食生活支援（受援）をテーマにした経緯 (2) 災害時の食支援に対する市町村の準備状況の変化 (3) 神奈川県における災害時の食生活支援について (公) 神奈川県栄養士会の取り組み 2 地域食生活対策推進協議会部会報告 (1) 市町災害時栄養・食生活支援に関するアンケート調査結果報告 (2) 市町災害時栄養・食生活支援（受援）ガイドライン（仮称）項目案 3 地域食生活対策推進協議会の取組みの方向性について 4 その他	平塚保健福祉事務所	15

イ 部会

月 日	内 容	会 場	出席者数
6月27日	1 「市町災害時栄養・食生活支援に関するアンケート」調査実施結果について 2 市町村栄養士の役割と受援対象業務の内容及び課題 3 その他	平塚保健福祉事務所	9
9月20日	1 市町災害時栄養・食生活受援ガイド（仮称）の方向性について 2 その他	平塚保健福祉事務所	7
3月12日	1 市町村栄養士の役割と受援対象業務の内容について 2 その他	平塚保健福祉事務所	8

(2) 広域的・専門的栄養改善活動

生活習慣病予防の普及啓発を図るとともに、慢性疾患や個別性の高い長期療養者の生活の質を高めることを目指し、栄養相談や研修会等を実施しました。

ア 専門的栄養指導・食生活支援事業
個別栄養指導及び訪問栄養指導

疾病名等	実人数	延人数	(再掲)	備考
			訪問件数	
糖尿病合併症	8	20		
肥質異常症・肥満合併症	2	2		
肝臓疾患				
腎臓疾患				
心臓病				
難病				
障害児・者				
が				
精神保健	1	1		
ハイリスク児				
高齢者等の低栄養	1	1		
食物アレルギー				
その他の (食事に関すること)	10	10		一般的な食生活に関する相談
その他の (乳幼児の食生活)	3	3		
その他の (小学生の肥満予防)	1	1		
その他の (国民健康・栄養調査)	76	76		
合計	102	114	0	

イ 栄養・食生活対策推進事業

事業名・教室名	内容	対象	集団指導		個別指導
			延回数	延人数	延人数
職域等と連携した生活習慣病予防対策	「食生活と健康」	管内事業所従事者 (新入社員)	3	120	
関係機関と連携した介護予防のための低栄養対策	「食べて延ばす健康寿命！～元気は楽しく美味しい食事から～」	管内企業OB会	1	84	
栄養・食生活対策担当者研修会	講話「地域の活動に役立つ食中毒予防について」 実習 手洗い実習	食生活改善推進員等	1	38	
未病女子対策推進事業	「食生活と健康」	専門学生、教員等	1	48	
合計			6	290	0

ウ 地域保健活動推進研修

地域において食育及び栄養・食生活対策を推進する市町及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修等を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
9月6日	「魅力的で楽しい食育～食育計画をどう考える?～」	相模女子大学栄養科学部 管理栄養学科 教授 吉岡 有紀子 氏	48

※特定給食施設等講習会（種別講習会）と併せて実施

(3) 栄養表示適正化推進事業

食品表示法に基づく食品表示基準制度、健康増進法に基づく特別用途食品の普及啓発と活用促進及び同法に基づく食品の健康保持増進効果に関する虚偽・誇大表示等の禁止に係る普及啓発を図るため、講習会及び個別相談等を実施しました。

ア 普及啓発講習会

対 象	回 数	延人数
事 業 者	12	876
消 費 者	4	158
その他(出前講座など)		
合 計	16	1,034

イ 事業者に対する表示適正化指導

事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

区分	内容	健康増進法			合 計
		特別用途食品	特定保健用食品(再掲)	虚偽誇大表示	
事前相談・指導	件 数			1	1
	延回数			1	1
適正化指導(改善指導)	件 数			2	2
	延回数			4	4
	改善確認数			2	2
備考					

事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

区分	内容	食品表示法						合 計	
		栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
		加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品		生鮮食品
事前相談・指導	件 数	11	1					12	
	延回数	11	1					12	
適正化指導(改善指導)	件 数	2						2	
	延回数	4						4	
	改善確認数	2						2	
備考									

(4) 特定給食等指導事業

健康増進法に基づき、給食施設の栄養管理の実施について、必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員等の健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

ア 特定給食施設等講習会

(ア) 全体講習会の開催状況

月 日	内 容	対 象	参 加 施設数	参加者数
5月9日	「給食施設の衛生管理について」 講師 平塚保健福祉事務所食品衛生課 食品衛生監視員	特定給食施設 小規模特定給 食施設の管理 者、調理師、 調理員等、地 域活動栄養士	125	132
6月22日	「熊本地震における栄養・食生活支援活動」 講師 平塚保健福祉事務所保健福祉課 栄養士	特定給食施設 小規模特定給 食施設の管理 者、管理栄養 士、栄養士 等、地域活動 栄養士	88	93

※ 会場はすべて平塚保健福祉事務所

(イ) 種別講習会の開催状況

月 日	内 容	対 象	参 加 施設数	参加者数
9月6日	「魅力的で楽しい食育～食育計画をどう考える?～」 講師 相模女子大学栄養科学部 管理栄養学科教授 吉岡 有紀子 氏	学校・児童福祉 施設・社会福祉 施設・事業所・ 寄宿舎の管理 栄養士・栄養士 等、地域活動 栄養士	33	38
1月11日	「高齢者の食べる機能を支える～おいしく楽しく食べやすい食支援～」 講師 医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 栄養サポート室室長 高崎 美幸 氏	病院・老人保健 施設・老人福祉 施設の管理 栄養士・栄養士 等、地域活動 栄養士	18	18
2月15日	1 「チームで行う経口維持の取り組み～導入からミールラウンドの事例まで～」 講師 介護老人保健施設リハパーク舞岡 栄養課課長 苅部 康子 氏 2 ワールドカフェ ～経口維持や栄養ケア・マネジメント等の情報交換～	老人保健施設・ 老人福祉施設 の管理 栄養士・栄養 士等	13	13

※ 会場はすべて平塚保健福祉事務所

イ 給食施設個別指導

給食施設に対し、個別指導、相談を実施しました。

		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設	
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指 定 施 設 ①	学 校 01								
	病 院 02			5	5				
	介護老人保健施設 03								
	老人福祉施設 04								
	児童福祉施設 05								
	社会福祉施設 06								
	事業所 07	5	5	1	1				
	寄宿舎 08								
	矯正施設 09								
	自衛隊 10								
	一般給食センター 11								
	その他 12								
計	5	5	6	6	0	0	0	0	
1 回 3 0 0 食 以 上 又 は 1 日 7 5 0 食 以 上 ② (指定施設①を除く)	学 校 01	9	9	3	3	1	1	2	2
	病 院 02								
	介護老人保健施設 03								
	老人福祉施設 04								
	児童福祉施設 05								
	社会福祉施設 06								
	事業所 07					1	1		
	寄宿舎 08								
	矯正施設 09								
	自衛隊 10								
	一般給食センター 11								
	その他 12								
計	9	9	3	3	2	2	2	2	
1 回 1 0 0 食 以 上 又 は 1 日 2 5 0 食 以 上 ③ (①、②を除く)	学 校 01	2	1	1	1	1	1	1	
	病 院 02	1	1	3	2				
	介護老人保健施設 03	2		3					
	老人福祉施設 04	7	2	4	1	1		1	
	児童福祉施設 05	5	5	1	1	20	19	8	6
	社会福祉施設 06	1	1	1	1	2	2		
	事業所 07	1	1			6	5	11	10
	寄宿舎 08							1	1
	矯正施設 09								
	自衛隊 10								
	一般給食センター 11								
	その他 12					2	1	2	2
計	19	11	13	6	32	28	24	19	
其 他 の 給 食 施 設	学 校 01								
	病 院 02			2	2				
	介護老人保健施設 03	1							
	老人福祉施設 04	4	3	3	3	1		2	2
	児童福祉施設 05	2	1	1	1	6	7	6	5
	社会福祉施設 06	2	2	1	1	4	4	2	2
	事業所 07	2	2	2	2	3	3	10	9
	寄宿舎 08			2	2			3	2
	矯正施設 09								
	自衛隊 10								
	一般給食センター 11								
	その他 12	2	1			4	3	11	9
計	13	9	11	11	18	17	34	29	
合 計	学 校 01	11	10	4	4	2	2	3	2
	病 院 02	1	1	10	9				
	介護老人保健施設 03	3		3					
	老人福祉施設 04	11	5	7	4	2		3	2
	児童福祉施設 05	7	6	2	2	26	26	14	11
	社会福祉施設 06	3	3	2	2	6	6	2	2
	事業所 07	8	8	3	3	10	9	21	19
	寄宿舎 08			2	2			4	3
	矯正施設 09								
	自衛隊 10								
	一般給食センター 11								
	その他 12	2	1			6	4	13	11
計	46	34	33	26	52	47	60	50	

※ 指導件数は延数

(5) 市町支援

- ア 企画・業務支援 5回
イ 管内食生活改善業務連絡会議 2回

(6) 人材育成

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援等に努めました。

ア 地域活動栄養士研修会

月 日	内 容	講 師	参加者数
6月22日	「熊本地震における栄養・食生活支援活動」	平塚保健福祉事務所 保健福祉課 栄養士	1
9月6日	「魅力的で楽しい食育～食育計画をどう考える?～」	相模女子大学栄養科学部 管理栄養学科 教授 吉岡 有紀子 氏	5
1月11日	「高齢者の食べる機能を支える～おいしく楽しく食べやすい食支援～」	医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 栄養サポート室 室長 高崎 美幸 氏	4

※ 特定給食施設等講習会と併せて実施

イ 管理栄養士課程実習生指導

学 校	コース	学生数	期 間
県立保健福祉大学	1	4	5月8日～ 5月12日
鎌倉女子大学	1	3	6月5日～ 6月9日
鎌倉女子大学	1	3	6月19日～ 6月23日
文教大学	1	3	9月11日～ 9月15日
関東学院大学	1	2	2月13日～ 2月16日
合 計	5	15	

ウ 地区組織等の育成

区 分	指導回数	延人数
食生活改善推進員リーダーの育成	15	195
栄養士会	12	126
合 計	27	321

4 歯科保健

＜保健福祉課＞

「8020達成」（80歳で自分の歯が20本以上）を目標として、う蝕予防のために検診・指導や普及啓発を行い、生活習慣病予防等の全身の健康という視点から、歯間清掃用具の普及に取組み、歯及び口腔の健康づくりを推進するために「8020運動推進員」の育成を行いました。

また、疾病・障害がある児への対策については、歯科疾患予防や摂食機能発達支援等を実施しました。

さらに、地域の歯科保健推進のため、「歯及び口腔の健康づくり推進委員会」を開催し、地域での歯科保健の課題の共有、検討、情報交換を行いました。

(1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

ア 委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健連絡小委員会の結果報告 ・ 管内市町3歳児歯科健診状況の推移 ・ 平成29年度管内歯科保健事業の実施状況（評価）と今後の方向性 ・ 歯及び口腔の健康づくり条例・歯及び口腔の健康づくり推進計画の見直しについて ・ 災害時歯科口腔保健対応対策事業について ・ その他 	平塚保健福祉事務所	委員 8 事務局 5

イ 歯科保健連絡小委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
11月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度 市・保健福祉事務所歯科保健事業について ・ 情報交換 	平塚保健福祉事務所	4
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度 町・保健福祉事務所歯科保健事業について ・ 情報交換 	大磯町保健センター	6

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町との連携の中で、重度う蝕傾向にある幼児を早期に把握し、予防を図るための定期検診、指導、予防処置を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受 診 者 数			予防処置者数（延人数）				
	初 診	再 診	合 計	フッ化物塗布	フッ化物液磨き フッ化物洗口	う蝕進行抑制剤塗布		合 計
						3歯まで	4歯以上	
50	37	144	181	136		14	3	153

イ 初診者の把握経路

市 町 事 業				保 健 福 祉 事 務 所 事 業	合 計
1歳6か月児	2歳児	3歳児	その他		
22	10		5		37

ウ 初診者のう蝕り患状況

把握事業名	受診者数	う蝕の精検結果			対処分類			
		う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし	非ハイリスク児	リスク解消児	ハイリスク児	
							保健福祉事務所継続	その他
1歳6か月児健診	22	8	12	2			22	
2歳児歯科健診	10	6		4			9	1
3歳児健診								
その他	5		1	4	2		3	
保健福祉事務所事業								
合計	37	14	13	10	2	0	34	1

(3) 障害児者等歯科保健事業

歯科疾患にかかりやすく、重症化しやすい障害児者に対し、検診、保健指導、予防処置を実施し、また、歯科医療機関へ1人紹介しました。さらに、摂食・嚥下機能の発達を促すために摂食機能相談を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受診者数		内容（延人数）				
	実人数	延人数	歯科検診	予防処置	歯科保健指導	生活・食生活指導	摂食指導
44	45	109	107	83	105	15	2

イ 年齢別受診状況

区分	6歳以下	7～19歳	20歳以上	合計
初診	16			16
再診	69	24		93

(4) 歯周病予防対策事業

歯周病予防に効果的なセルフケア対策として、歯間部清掃用具の正しい使用方法等について、実技指導を行いました。なお、歯ぐきの検診については、管内の1市2町が妊（産）婦歯科検診を行っているため、当所では行っていません。

対象		開催回数	参加者数
大磯町	4か月児健診参加者（保護者）	6	208
	重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業参加者（保護者）	1	9
二宮町	1歳児歯科相談参加者（保護者）	6	141
	重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業参加者（保護者）	1	15
合計		14	373

(5) 歯の健康づくり事業

子どもから高齢者まで全ての世代に共通し、県民自らが取り組む行動目標として掲げた「健口かながわ5か条」のリーフレットを配布して普及を行い、口腔機能の維持向上をはじめとした、県民の主体的な歯及び口腔の健康づくりを推進しました。

普及対象	母子	学童・生徒	成人	老人	その他	不明	合計
普及人数	391				686		1,077

(6) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

ア 訪問状況

実人数	訪 問 者 数						従事者数（延人数）	
	延 人 数						歯科医師	歯科衛生士
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合 計		訪問歯科衛生士
7	12	8	1			21	21	21

イ 疾患別状況

区 分	慢性疾患児	特定疾患者	脳血管障害 後遺症者	認知症患者	そ の 他	合 計
平塚市	6(19)	1(1)				7(20)
大磯町						
二宮町						
合 計	6(19)	1(1)	0	0	0	7(20)

※ () 外は実人数、() 内は延訪問回数

(7) フッ化物洗口普及啓発事業

4歳以上の未就学児を主な対象として、かかりつけ歯科医での定期歯科検診と指導、かかりつけ薬局での薬剤の購入を併せた、地域での「家庭内フッ化物洗口」の普及啓発を実施しました。

区 分	回 数	参加者数
保育所、幼稚園保護者説明会	2	101

(8) 人材育成

地域で歯科保健を担っていく人材の育成を行いました。

ア 在宅歯科衛生士研修（保健衛生研修）

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
1月11日	高齢者の食べる機能を支える～おいしく楽しく食べやすい食支援～	医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 栄養サポート室室長 高崎 美幸	平塚保健福祉事務所・秦野センター管内の在宅歯科衛生士等	平塚保健福祉事務所	41

イ 8020運動推進員育成研修

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
10月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「楽しく元気に健口体操（プロの展開方法を体験しよう）」 ・実習「私たちができる健口体操の普及方法を習得しよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士 原 眞奈美 	8020運動推進員	平塚保健福祉事務所	21
12月 4日	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「健口体操の基本と効果的な媒体の活用について」 ・実習「今日から使える健口体操の媒体（舌体操の媒体）づくり」 ・先輩8020運動推進員の活動報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士 伊東 裕子 ・8020運動推進員 			24
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・実習「人前であがらずに話したり、お口の体操を披露したりするコツ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・（社）あがり症克服協会 理事長 鳥谷 朝代 			32

ウ その他

事 業 名	開催回数	延参加者数
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	1	16
平塚地域歯科衛生士の会「歯みんぐ」支援	5	26
8020運動推進員 活動支援	6	34

(9) 災害時歯科口腔保健対応対策事業

一般社団法人平塚歯科医師会会員等並びに平塚市、大磯町及び二宮町の行政担当者、歯科衛生士並びに歯科技工士を対象とした研修会を実施し、管内市町及び関係団体における顔の見える関係づくりを行いました。

研修会

月 日	内 容	講 師	参加者数
2月21日	講演「災害時の歯科保健医療活動の目的と実際～地域での災害時体制の準備に向けて～」	<ul style="list-style-type: none"> ・東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 医歯学系専攻 顎顔面頸部機能再建学講座 顎顔面外科学 助教、日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人中久木 康一 	47

(10) その他の事業

事業名	対象	開催回数	検診・保健 指導数
歯と口の健康週間行事	住民（平塚市）	2	39
平塚地区労務安全衛生大会	企業の担当者	1	38
歯科健康教育（依頼講習）	児童養護施設職員及び入所者	4	68
	障害福祉サービス事業所利用者	1	30
未病女子対策推進事業（母子保健の再掲）	参加者	7	273
特定疾患患者と家族のつどい （保健予防課の再掲）	指定難病患者及びその家族	1	9
電話相談等	住民		2

慢性疾患により、発育発達等の課題が予測される児や、療育上の困難が予測される児と保護者を対象に、訪問指導や交流会を実施しました。

また、地域における母子保健事業の円滑な推進を図るため、管内市町との連絡調整を実施するとともに、関係機関で構成する「母子保健委員会」を開催しました。

さらに、児童虐待の予防のために、地域の関係機関と連携体制を構築する「妊娠期からの児童虐待予防事業」を実施しました。

(1) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び市町が実施する母子保健事業及び児童福祉事業の課題や実績の評価を行い、関係機関との連絡調整を図る目的で母子保健委員会を開催しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
委員会 1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期からの児童虐待予防事業について ・ 平成29年度母子保健事業等について 	平塚保健福祉事務所	24
部 会 10月26日			14

(2) 養育支援事業

養育上の課題を持つ児及び保護者を対象に、児の健やかな発育・発達を促進させ、併せて養育環境を整えることを目的に実施しました。

また、児童虐待を予防するため、育児不安や精神疾患を抱える妊産婦に対し、周産期医療機関、市町、児童相談所及び当所が連携し、周産期から地域全体で児童虐待予防に対する取り組みを推進しました。

ア 訪問指導

実人数	延人数
9	54

イ 個別相談（保健師による電話相談・面接等）

実人数	延人数
51	153

ウ 保健指導教室等

教室名	月 日	内 容	講 師	対 象	参加者数
口唇口蓋裂のお子さん と保護者の方の 交流会	5月31日	「先輩ママの話と交流会」	虹の会 代表者	口唇口蓋裂のお子さん と保護者	11
	7月21日	口唇口蓋裂のお子さんの最新治療の話	東海大学医学部附属病院 形成外科 教授 赤松 正		23
医療的ケアが必要な お子さんとの交流	6月5日	「平塚養護学校へ行こう！」	平塚養護学校 教員	在宅医療が未就学児と、希望者他	15
	9月5日	子どもの笑顔と健康、成長をめざして一味わう、食べる、飲み込むことの大切さとはー	芳賀デンタルクリニック 湘南 院長 芳賀 定		29
小児慢性特定 疾病講演会	10月6日	ダウン症を持つ子どもへのかかわり～幼児期から青年期まで～	公益財団法人日本ダウン症協会 理事 玉井 邦夫	ダウン症御家族、関心がある方	125
	12月8日	1型糖尿病とくらしていくこと～学校・社会で暮らす中、抱える思い～	H.E.Cサイエンスクリニック DM管理室患者会事務局担当 高山 春恵	小児1型糖尿病御家族、関心がある方	35
	2月19日	病気とつきあいながら、将来の進路について考えてみよう！	西南女学院大学保健福祉部 福祉学科 教授 谷川 弘治	小児1型糖尿病御家族、関心がある方	32

エ 妊娠期からの児童虐待予防事業

(ア) 妊娠期リスクアセスメントシート及び養育支援結果報告票の進行管理

	合計	医療機関→市町	市町→医療機関
妊娠期リスクアセスメントシート	100	33	67
養育支援結果報告票	33	19	14

(イ) 研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
11月24日	平成29年度第2回平塚市学校・警察連絡協議会（共催） 講演 平塚保健福祉事務所からの情報提供 講師 平塚保健福祉事務所保健師 講演 平塚警察署からの情報提供 講師 平塚警察署担当者 講演 「産婦人科医が伝えたい生と性のこと」 講師 横浜市立大学 医学部産婦人科 非常勤講師 産婦人科医 助川明子	平塚市教育会館3階大会議室	65

月 日	内 容	会 場	参加者数
1月17日	母子保健支援者研修 「多問題ケース」における関係機関の役割の持ち方、関わり方等についての事例検討、講義 講師 防衛医科 大学校医学教育部医学科心理学学科目 教授 佐野信也	平塚市保健センター	18

(3) 思春期保健事業（個別相談）

思春期における心身の成長発達に関する問題等に対処するため、個別相談を行いました。

区分	人数	相談方法			相談者(延)			相談内容(延)										事後指導(延)							
		電話	面接	計	本人	父母	その他	身体	性	妊	結	病	友	家	学	その他	計	助言指導	面接継続	継続	他機関紹介	受診勧奨	その他	計	
男	11	11		11	11		11	5	6								11	11						11	
女	10	9	1	10		10	10	1						8	1		10	9			1			10	
合計	21	20	1	21	11	10	0	21	6	6	0	0	0	0	8	1	0	21	20	0	0	1	0	0	21

(4) 生涯を通じた女性の健康相談事業

思春期から更年期に至る女性はその健康状態に応じた的確に自己管理ができるように、個別相談を行いました。

ア 個別相談

相談方法			相談回数		相談者	
電話	面接	その他	1回	2回以上	本人	その他
27	1		27	1	23	5

区分 年代	相談内容(延)										事後指導(延)									
	妊	避	不	性	メンタルケア	婦人科疾患	更年期	泌尿器	その他	計	(再掲)望まない妊娠	助言	専門相談	電話継続	訪問継続	他機関紹介	医療機関紹介	その他	計	
10歳代	1					1				2		2								2
20歳代	1	1								2		1					1			2
30歳代	1					1				2		2								2
40歳代					1	1				2		2								2
50歳代					1	2	1			4		4								4
60歳以上					1			2	3	6		5							1	6
不明	2	3				1		2	1	9		9						1		10
合計	5	4	0	0	3	6	1	4	4	27	0	25	0	0	0	0	0	2	1	28

イ 健康教育

内 容	回 数	対 象	参加者数
ハッピーライフプランで行こう♪ (学生オリエンテーション)	2	看護、保健師等実習学生	105
ハッピーライフプランで行こう♪ (県立平塚看護大学校・撫子祭)	1	県立平塚看護大学校学生等	141
ハッピーライフプランで行こう♪ (東海大学・建学祭)	1	東海大学学生等	95
ハッピーライフプランで行こう♪ (神奈川大学・平塚祭)	1	神奈川大学学生等	60
ハッピーライフプランで行こう♪ (管内中学校・高等学校)	4	管内中学校、高等学校学生等	563
ハッピーライフプランで行こう♪ (その他)	3	大学職員、婚活イベント参加者等	65

ウ 未病女子対策推進事業

若い女性に、女性としての健康問題についての気づきの機会の提供と正しい知識や必要な情報の普及を図りました。

(ア) リーフレットの配布

内 容	回 数	対 象	参加者数
イベント等を活用したリーフレット配布	36	一般県民	3182

(イ) 講演会の開催

月 日	内 容	場 所	対 象	参加者数
10月2日	「大事なカラダ！未病改善スタート講座」 1 食生活と健康 2 お口の健康を保つ 3 未病ってなあに？！ ～未病改善に向けた取り組み～	平塚保健福祉事務所	専門学校生	48
11月20日	「未病女子セミナー・子育てスペースでんむし特別講座」 1 ベビー&産後ママのはっぴーヨガ 2 育児に役立つ♪癒しのアロマ講座 3 気をつけたい女性の“未病”	二宮町保健センター	二宮町住民 他	24
1月16日	「未病女子セミナー・なりたいワタシへ1UP！女子力向上講座」 1 未病ってなあに？！ 2 聞くに聞けなかった！女性ホルモンと月経・妊娠のおはなし 3 素敵女子 ポイントメイク ～ココロの未病改善講座～	東海大学湘南校舎	大学生	35

(5) 小児医療援護

ア 小児慢性特定疾病医療給付

国が指定した14疾患群722疾病に該当し、一定の認定基準に満たしている方に対して、その治療に係る医療費に係る医療費の一部を助成します。

区分	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体遺子変異を伴う症候群	皮膚疾患	合計
平塚市	17	11	4	18	30	10	11	5	4		11	12	1		134
藤沢市	44	11	3	47	57	11	25	4	13	1	21	22	3		262
茅ヶ崎市	28	15	3	32	51	11	14	6		5	17	12	3	1	198
寒川町	1	1	2	6	6		4		1		3	2		1	27
大磯町	2	1	1	1	5										10
二宮町	2		1	4	1			1	1			1			11
合計	94	39	14	108	150	32	54	16	19	6	52	49	7	2	642

※平成30年3月31日現在認定している受給者数

※複数の疾患が認定されている受給者は、主たる疾患の疾患群にて計上

(6) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精及び顕微授精について、治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しました。

区分	申請件数	助成件数
平塚市	211	243
大磯町	9	9
二宮町	10	10
合計	230	262

※ 1回の申請で複数回分の助成を申請する場合がありますため、申請件数と助成件数は異なります。

6 職域保健

<企画調整課>

二次保健医療圏域における地域保健と職域保健を担う組織の有機的連携により、壮年期の勤労者の健康を向上させ、生涯を通じた継続的な健康管理を支援することを目的に、平成20年度、「湘南西地区保健医療福祉推進会議」の下に「地域・職域連携推進専門部会」を設置しました。

(1) 地域・職域連携推進専門部会

月 日	内 容	会 場	出席者数
1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度地域・職域連携推進事業の実施状況 ・ 「若い世代から働き盛りの健康力アップ事業」普及啓発媒体について ・ 平成30年度地域・職域連携推進事業の実施計画案 ・ 地域・職域連携推進事業の今後の取組みについて ・ 「働く人の健康情報冊子～メンタルヘルス版～」について 	平塚保健福祉事務所	12

(2) 働く人のメンタルヘルス研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
1月18日	講演 「働く人のメンタルヘルス対策 ～復職者への接し方、対応について～」 講師 独立行政法人 労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター 医師 高畑玲子氏	平塚保健福祉事務所	20

(3) 健康管理担当者研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
2月16日	講演 「働く人の健康を守るためにできること ～地域・職域連携を通して～」 講師 東海大学健康科学部 看護学科 講師 三橋 祐子氏 花王株式会社鹿島工場地区SC人事総務グループ 山口 理恵氏	平塚保健福祉事務所	22

(4) 健康教育等

ア 神奈川県労働安全衛生協会平塚支部地区会における健康教育
 テーマ 「平塚保健福祉事務所の業務について
 (メンタルヘルス対策、がん予防等)」

月日	講師	対象	会場	参加者数
6月16日	当所保健師	安全衛生担当者(統括安全衛生管理者・衛生管理者・現場の課長等)	勤労会館	13
6月23日			勤労会館	8
6月30日			日産車体	16
7月3日			二宮工業団地内組合会館	7
7月5日			横浜ゴム	17
7月10日			関西ペイント	19

イ 平塚地区労働安全衛生大会におけるブース出展

月日	内容	講師	会場	参加者数
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く人の健康に関する〇×クイズ ・ 喫煙防止コーナー ・ 歯周病予防コーナー ・ がん検診普及啓発コーナー 	当所保健師・歯科衛生士等	平塚市中央公民館	延べ147

7 認知症疾患対策

<保健予防課>

認知症疾患対策として、相談事業、訪問指導事業、処遇困難事例の検討会や研修会、健康教育、徘徊高齢者SOSネットワークシステム等の事業を実施しました。

(1) 認知症疾患相談事業

本人、家族、地域包括支援センター職員等からの相談に応じています。

区分	件数 (延)	相談方法			
		電話	面接	訪問	文書等
定例相談	18		14	4	
随時相談	69	59	7	1	2
合計	87	59	21	5	2

(2) 処遇困難事例検討事業

関係機関の職員及び家族、当事者を対象に講演会や研修会を実施しました。

ア 講演会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
1月24日	認知症と運転 について	NPO法人 高齢者安全運転支援研究会 並木 靖幸 平塚 喜之 神奈川県平塚警察署 大場 英彰	管内行政機関、地域 包括支援センター、医 療機関、介護保険事 業所等の職員、一般 住民	平塚保 健福社 事務所	36

イ 認知症従事者研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
7月21日	若年性認知症患者、 家族への支援	認知症の人と家族の会 神奈川支部 岸 正晴	管内行政機関、 地域包括支援セ ンター、医療機 関、介護保険事 業所等の職員	平塚保 健福社 事務所	55
10月30日	認知症の人とご家族 への支援	東海大学大磯病院 認知症看護認定看護師 鷹嘴 亜里			59

ウ 家族会支援

月 日	内 容	参加者	会 場	参加者数
7月10日	認知症介護者 平塚・二宮・大 磯のつどい	介護者、当事者、認知症の人と家 族の会神奈川支部職員、平塚市社 会福祉協議会職員等	平塚市福祉会館	18
10月4日				21
12月19日	平塚市介護の会 「はまゆう」	平塚市介護の会「はまゆう」会員	平塚保健福祉事務所	20

(3) 徘徊高齢者SOSネットワークシステム

市町村と連携して徘徊高齢者の登録・通報・保護等を行っています。

ア 事前登録状況（平成29年3月30日現在）

平塚市	大磯町	二宮町	合 計
175	30	9	214

イ ネットワークの利用状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	管外からの 検索依頼	合 計
検索依頼	1	0	0	59	60
発見者の身元探索依頼	1	0	0	4	5

8 メンタルヘルス

<保健予防課>

地域住民のニーズに迅速に対応する精神保健福祉相談支援を実現するため、所内体制及び関係各機関との連携を強化し、管内の相談支援体制の向上に努めてきました。

また、地域住民向け講演会、健康教育及び企業向け研修会の実施、関係機関向け人材育成研修会の実施等、精神障害者施策からメンタルヘルス対策の推進まで、幅広い事業展開を図りました。

(1) 地域精神保健福祉関係会議

幅広い精神保健福祉関係機関の協力を得て開催しました。精神障害者施策及びメンタルヘルス対策について協議し、関係各機関との連携充実を図っています。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

月 日	内 容	会 場	出席者数
2月7日	1 平塚保健福祉事務所精神保健福祉事業報告 2 市町精神保健福祉事業報告 3 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について	平塚保健福祉事務所	18

イ その他会議

月 日	名 称	内 容	会 場	出席者数 (助言者を除く)
8月 8日	ケース会議	ケース検討等	平塚保健福祉事務所	6
10月10日				3
11月14日				2

(2) 相談・訪問

ケースワーカーや保健師が、電話や面接、訪問等で相談を受けています。

ア 主な相談内容

区分	相談内容（延）											計
	ひきこもり	自殺関連	性格上の問題	児童虐待	家庭内暴力	D V	高齢者虐待	食生活上の問題	依存症	近隣苦情	その他	
相談	39	86	61	93	213	41	10	31	73	222	1290	2159
訪問	18	22	13	16	35	9	2	4	2	66	62	249

イ 診断名（実）

区分	認知症等	アルコール依存症等	薬物・覚せい剤等	統合失調症	気分障害	適応障害等	摂食障害等	パーソナリティ障害等	知的障害等	発達障害等	診断保留	精神障害と認めず	不明・未受診	合計
相談	11	22	7	87	43	27	5	4	17	16	5	4	212	460
訪問	2	1	0	23	7	2	0	2	6	0	0	1	15	59

(3) 普及啓発

働く人のメンタルヘルス研修会

月日	内容	講師	対象	会場	参加者数
1月18日	働く人のメンタルヘルス対策 ～復職者への接し方、対応について～	(独法) 労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター 高畑 玲子	管内事業所の 経営者・衛生 管理者等	平塚保 健福祉 事務所	20

(4) 家族教室

区分	月日	内容	講師	会場	参加者数
統合失調症	10月6日	統合失調症の理解	医療法人研水会 平塚病院 医師 木村 光隆	平塚保健福祉事務所	16
	10月13日	1 体験発表 2 本人が使える制度について 3 精神保健福祉サービスの紹介	1 ピアサポーター 2名 2 ほっとステーション平塚 相談支援専門員 大嶋 悦子		14
	10月20日	家族会の活動紹介、家族からの体験談、グループワーク等	湘南あゆみ会 世話人		8
	合計 1コース (3回)				
うつ病	7月19日	うつ病とその治療	医療法人社団清風会 富士見台病院 院長 樋口 誠逸	平塚市役所	14
	7月28日	家族の立場から	うつ家族コミュニティふらっと 会長		13
	8月4日	家族の対応について みんなで話してみよう、聞いてみよう	うつ家族コミュニティふらっと 会長・スタッフ		8
	合計 1コース (3回)				

※ 主催：平塚保健福祉事務所 共催：平塚市

(5) 入院関係等事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉センター兼務職員として、精神保健診察事務に協力しました。

精神保健福祉法第23条：22件（警察官の通報によるもので、平日の日中対応）

イ 精神科病院実地指導・実地審査（精神保健福祉法第38条の6）

精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

区分	平塚市	大磯町	二宮町	合計
施設数	2	0	0	2

(6) 地域自殺対策緊急強化基金事業

ア 地域自殺対策検討会

月日	内容	対象	助言者	会場	参加者数
6月15日	1 管内市町での自殺の現状や課題の整理 2 管内の救急医療機関における自殺未遂者への対応の現状と課題の共有 3 各関係機関での取り組みの現状及び普及啓発の状況 4 東海大学病院における取り組み等の情報提供	市町、 医療機関 関係者	東海大学医学部専門診療学系 精神科学教授 山本 賢司	平塚保健福祉事務所	13

イ 地域自殺対策人材養成研修事業

(ア) ゲートキーパー養成研修

月 日	講 師	対 象	場 所	参加者数
8月7日	当所保健師	民生委員児童委員等	二宮町町民センター	49
9月5日	当所福祉職	民生委員児童委員等	大磯町保健センター	26
10月5日	当所福祉職	東京神奈川森林管理署職員	東京神奈川森林管理署	24

(イ) 地域自殺対策研修会

月 日	内 容	対 象	講 師	会 場	参加者数
9月14日	受援力～助け合いのポイント～	管内で相談業務に携わる職員	県保健福祉局保健医療部健康増進課 医師 吉田穂波	平塚保健福祉事務所	34
11月10日	広汎性発達障害の自殺リスクと再発予防について	管内で思春期の相談に携わる職員	和光クリニック 院長 加藤 晃司	平塚保健福祉事務所	33

ウ 地域自殺対策普及啓発事業

月 日	内 容	場 所	参加者数
8月30日	自殺予防啓発街頭キャンペーン (啓発物セットの配布)	平塚駅北口、駅前周辺	1,000
9月4日 ～9月15日	自殺予防週間普及啓発事業 (ポスター掲示・リーフレット配架等)	平塚保健福祉事務所、平塚合同庁舎	500
2月26日 ～3月9日	自殺対策強化月間普及啓発事業 (パネル展示・リーフレット配架等)	平塚保健福祉事務所、平塚合同庁舎	160

エ その他

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
4月25日	自死遺族の集い	自死遺族	旧横浜ゴム平塚製造所 記念館 八幡山の洋館	2
6月6日				2
8月1日				4
10月3日				3
12月5日				9
2月6日				1

全国のH I V感染者やエイズ患者が増加の一途をたどる中、神奈川県においても同様に増加しています。H I V感染者は、限られた感染経路しか持たないことから、適切な予防教育によって感染拡大を防止することが可能です。感染拡大防止のためのエイズ相談、検査、青少年層への予防教育、感染者・患者への偏見・差別のない地域支援を一層推進します。平成30年3月からはエイズ検査に合わせて梅毒の検査も開始しました。

(1) エイズ相談・検査実施状況

ア 年度別エイズ相談・検査実施状況

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談	1,299	1,189	1,190	1,003	610	542
検査	345	335	354	301	262	226

※H30年3月はエイズ検査と梅毒検査を同時実施。

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

区分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	合計
男	3	44	50	41	22	8	1	169
女	2	21	25	5	2	1	1	57
合計	5	65	75	46	24	9	2	226

(2) イベント検査の実施

世界エイズデーにともなうイベント検査として、通常のH I V即日検査実施日（12月8日）に希望者に梅毒、B型肝炎検査を実施し、16名参加しました。

(3) エイズ予防普及事業

ア 学校における講演会

青少年を対象に、エイズ・性感染症予防についての知識の普及を図るため、中学校10校、高等学校2校、その他2校、合計14校1,820名に講演会を実施しました。

イ キャンペーン活動

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
7月28日	検査案内チラシ、啓発グッズの配布	学生 職員 県民	神奈川県立平塚看護大学校	141
10月21日			神奈川県立平塚看護大学校	60
11月2日			東海大学湘南キャンパス	95
11月20日～12月1日		県民	平塚合同庁舎	150
11月28日	エイズ予防啓発	県民	F Mナパサ（ラジオ放送）	
合 計				446

10 結核予防

<保健予防課>

結核は、平成19年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき二類感染症になりました。これにより、医療機関から患者発生届が直ちに提出され、積極的疫学調査等速やかな対応が可能になりました。当所では、結核予防の普及啓発・関係医療機関との連携により、治療中断者を早期に把握するため服薬支援事業を実施しました。また、患者家族や接触者の発病予防に取り組みました。

(1) 診査協議会(平塚保健福祉事務所感染症診査協議会)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第24条に基づく診査を行いました。

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

ア 開催回数 定例：24回 臨時：20回

イ 診査件数

区 分	件数 (延)
入院勧告	17
入院延長	34
医療費公費負担申請	120
承認	117
不承認	0
保留	3

(2) 結核患者の登録管理状況

ア 登録患者数(平成29年12月31日現在)

区 分		総 数	活 動 性 肺 結 核	活 動 性 肺 外 結 核	不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	潜 在 性 結 核 (別 掲)
総 数		109	19	11	56	23	20
市 町 別	平 塚 市	92	14	7	49	22	15
	大 磯 町	4	2	0	2	0	3
	二 宮 町	13	3	4	5	1	2
年 齢 別	0～4歳						1
	5～9歳						1
	10～14歳						
	15～19歳						
	20～29歳	3			2	1	1
	30～39歳	9	2		3	4	1
	40～49歳	8			4	4	2
	50～59歳	11	1		8	2	2
	60～69歳	20	1	4	11	4	4
	70～79歳	29	6	2	15	6	5
80歳～	29	9	5	13	2	3	

イ 新登録患者数（平成29年1月1日～12月31日）

区 分	総 数	活 動 性 肺 結 核	活動性肺結核(内訳)			活 動 性 肺外結核	潜在性結核 (別掲)
			喀痰塗沫 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他		
総 数	34	23	9	10	4	11	15
年 齢 別	0～4歳						1
	5～9歳						1
	10～14歳						
	15～19歳						
	20～29歳	1	1			1	
	30～39歳						1
	40～49歳	2	2	1	1		1
	50～59歳	3	3		2	1	
	60～69歳	4	2		1	1	2
	70～79歳	9	7	2	4	1	2
80歳～	15	8	6	2		7	

(3) 接触者健診

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

区 分	受 診 者 数 (延べ)			受 診 結 果 (実)			
	保健所	医療機関	合計	要医療	発病の恐れ	異常なし	合計
接触者健診	138	11	149	3	7	127	137

(4) 保健指導

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問	所内指導 (延人数)			
延人数	電話	面接	文書	計
177	347	134	19	500

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
11月6日	① 最近の結核感染症の状況と介護老人保健施設における集団感染対策 ② 平塚保健福祉事務所管内における結核の動向と対策	① 淀川キリスト教病院老人保健施設 施設長 中村 肇 ② 平塚保健福祉事務所秦野センター医師	伊勢原 シティ プラザ	46

* 秦野センターと合同開催

イ 結核対策評価検討会

月 日	内 容	会 場	参加者数
11月20日	(1)平成28年平塚保健福祉事務所管内の結核患者の登録状況について (2)事例検討 (3)意見交換	平塚保 健福 祉 事務 所	16

* 秦野センターと合同開催

ウ コホート検討会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
8月30日	コホート検討	公益財団法人 結核研究所 保健看護学科長 永田 容子	平塚保健福祉事務所	21
2月7日			鎌倉保健福祉事務所	16

* 秦野センター・鎌倉保健福祉事務所・三崎センターと合同開催

11 感染症予防

<保健予防課>

平成10年に「伝染病予防法」に替わり「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が制定されました。その後平成19年3月に「結核予防法」が統合され、平成20年に新型インフルエンザ対策の整備等に関する改正が行われました。

当所では、感染症の届出や集団発生時に、疫学調査・保健指導等を実施し、感染症のまん延防止に努めました。また、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、感染症の発生状況を収集し、県・国に報告しています。

(1) 発生届（平成29年1月1日～12月31日）

類 別	疾患名	件数
一類感染症		0
二類感染症	結核	42
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症O157	13
四類感染症	つつが虫病	2
	レジオネラ症	3
五類感染症	ウイルス性肝炎	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2
	後天性免疫不全症候群	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	6
	梅毒	6
総 数		81

※当所に届出のあった数。住所が管外の場合もあります。

(2) 医療機関からの相談および検査件数

病名	相談件数	検体数	結果
デング熱疑い	1	1	陰性
麻しん疑い	1	1	陰性
合計	2	2	

(3) 感染症の集団発生連絡にともなう疫学調査・指導等

社会福祉施等における感染症発生に係る報告（平成17年2月22日通知）に基づく報告に対し、調査・保健指導を行いました。

疾病名	施設種別	件数
インフルエンザ	高齢者施設	5
	障害者施設	4
	保育園	2
	救護施設	1
風邪症状	高齢者施設	2
ノロウイルス感染症	高齢者施設	2
合計		16

(4) 集団かぜによる学級閉鎖状況

施設区分	報告数	欠席者数	学級閉鎖数	学年閉鎖数	施設閉鎖数
総計	197	1,306	171	75	2
幼稚園	10	64	6	3	1
小学校	155	986	139	32	
中学校	30	235	26	40	
その他	2	21			1

(5) 感染症予測監視状況事業

定点種別	週報	月報	機関数
インフルエンザ定点	○		11
小児科定点	○		7
眼科定点	○		2
STD定点		○	2
基幹定点	○	○	1
疑似症定点	発生時報告		18

(6) 保健指導

ア 健康教育

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
9月12日	感染症予防の基礎知識	医師、保健師	管内介護保険事業所・ 高齢者施設・障害児者 施設・児童養護施設・ 救護施設等の職員	平塚保健福 祉事務所	43
9月21日	入所施設における感染性 胃腸炎への対応	医師・保健師			24
10月17日	感染症対策について	保健師	二宮町社会福祉協 議会ホームヘルパー ステーション職員	二宮町社会 福祉協会	14
12月20日	PPE着脱・アイソポッド組み 立て所内研修会	医師・保健師	当所職員	平塚保健福 祉事務所	22

イ 個別指導

訪 問	面 接	電 話	文書・メール	計
20	26	408	11	465

(7) 物品の貸出

正しい手洗いの普及啓発のため、手洗いチェッカーを貸し出しました。

貸出先	高齢者施設	児童養護施設	訪問事業所	その他	計
回 数	8	2	4	4	18

(8) 感染症対策連絡

月 日	内 容	会 場	参加者
7月10日	1 管内の感染症の状況 2 情報交換 3 今後の情報共有の方法について	平塚保健福 祉事務所	管内医師会・市町担 当職員・病院感染症 管理認定看護師
2月19日	1 地域における感染症ネットワークについて 2 管内薬剤耐性菌の検出状況について 3 各医療機関の取り組みについて		管内医師会・市町担 当職員・病院職員

(9) 蚊の生息調査

期間 6月～10月（各月1回。計5回）
 場所 平塚市総合運動公園
 検査内容 デングウイルス、ジカウイルス、日本脳炎ウイルス、
 ウエストナイルウイルス、チクングニアウイルス
 結果 ウイルスを保有した蚊は確認されませんでした。

12 難治性疾患対策

<保健予防課>

難病患者に対し医療給付を行うとともに、患者・家族のQOL向上のための講演会やつどいを開催しました。また、関係機関との連携により適切な在宅療養支援の推進を図るため、会議や従事者研修会等を開催しました。

(1) 特定疾患医療援護

特定医療費（指定難病）医療受給者証交付状況

医療受給者証交付申請（新規）	232 件
医療受給者証交付更新申請	1,443 件
その他（特定医療費請求申請他）	526 件

(2) 難病対策地域協議会

平塚保健福祉事務所及び管内の市町、その他福祉関係機関等が実施する難病患者への保健福祉事業を円滑かつ効果的に行うために、難病患者やその家族をとりまく状況や課題等を把握検討し、管内の難病保健福祉施策の向上を図ることを目的に、会議を開催しました。

月 日	内 容	会 場	出席委員数
1月11日	・平塚保健福祉事務所における難病対策について ・難病患者の在宅療養と就労、社会参加について ・関係機関の取組み及び課題について	平塚保健福祉事務所	28

(3) 医療相談等事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、講演会や相談会、つどいの開催、訪問相談事業を行いました。

ア 難病講演会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月26日	「災害時のために 今できること」	NPO法人 日本慢性疾患セルフマ ネジメント協会 事務局長 武田 飛呂城	平塚保健福祉事務所	27

イ 難病患者と家族のつどい

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
4月25日	参加者による自主活動(情報交換等)		平塚保健福祉事務所	7
5月24日	網膜色素変性症患者のつどい	神奈川県網膜色素変性症協会と共催		39
5月29日	療養生活の情報交換・口腔衛生について	当所歯科衛生士・保健師		9
7月25日	健康体操	スポーツプログラマー 橘高 靖子		7
9月26日	講演会同時開催	NPO法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会 武田 飛呂城		9
10月24日	参加者による自主活動(情報交換等)			7
11月28日	美味しく食べて、楽しくお話しするために	大磯幸寿苑 言語聴覚士 堀江 正邦		9
3月21日	楽しく歌って、元気な体づくり♪	療育音楽指導者 佐藤 喜美子		5

(4) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養中の難病患者や家族の実態に応じたきめ細やかな支援を行うことと、地域における総合的な支援体制の構築のために、事例検討会等を開催しました。

病 名	回数	検討内容	検討場所
筋萎縮性側索硬化症	4	関係者間の情報共有、サービス調整等支援方針の確認	本人宅、医療機関、施設等
多系統萎縮症	2		
パーキンソン病	2		

(5) 難病対策特別推進事業（在宅難病患者在宅ケア従事者研修会）

難病患者等の在宅療養上の適切な支援を行うため、サービス提供事業所職員（ケアマネジャー、看護師、ヘルパー、歯科衛生士等）を対象に研修会を開催しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
10月12日	難病患者に対するコミュニケーション支援～実践編～ 「当事者の思いを体験しよう！」	市内在住ALS患者 日本ALS協会神奈川県支部会員	平塚保健福祉事務所	56

(6) 在宅難病患者受入れ病床確保事業

医療依存度の高い難病患者を対象に、介護者の休養や介護困難時に対応するため、緊急一時入院の利用申請受付や状況調査・利用調整を行いました。

受入病院	利用回数
箱根病院	1
鶴巻温泉病院	4

(7) 家庭訪問・相談

	家庭訪問	面接	電話	その他	計
人数（延）	39	55	365	46	503

13 肝臓疾患対策事業

<保健予防課>

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、肝炎検査・相談等を実施しました。

(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎、B型肝炎抗原検査実施状況

相談・検査

定例相談	受診券発行	イベント検査※ (B型のみ)	随時相談 (延数)
0	8	16	8

※世界エイズデーに伴うイベントとしてエイズ検査と同時に実施

(2) 肝炎治療費助成申請件数等

申請内容	件数
インターフェロン	1
インターフェロンフリー	74
核酸アナログ製剤	146
その他	32
合計	253

14 原爆被爆者援護

＜保健予防課＞

戦後70年以上を経過した中で、被爆者健康手帳の新規申請は減少の一途をたどっていますが、被爆者及びそのこどもに対して健康診断を実施するとともに、各種手当等の手続きを実施しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

(平成30年3月31日現在)

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
被爆者健康手帳	60	26	15	101
第一種健康診断受診者証	0	0	0	0
第二種健康診断受診者証	3	0	0	3
被爆者のこども受診者証	103	16	12	131
合 計	166	42	27	235

(2) 被爆者健康診断受診状況

当所での被爆者健康診断の受診者は0名でした。

15 アスベスト（石綿）に関する相談

＜保健予防課＞

アスベスト（石綿）に関する健康不安や救済制度の申請等について、相談を実施しました。

相談取扱件数

相談件数 (延)	相談方法				相談内容			
	電 話	来 所	メール	その他	健康 相談	労災 相談	環境 相談	申請等
3		3				1		2

16 健康保持増進

<企画調整課><保健福祉課>

地域住民の健康の保持増進を図るため、健康・体力づくり、禁煙サポート、がん予防、健康教育、生活習慣病予防の各事業を実施しました。

健康増進事業や介護予防事業、特定健診・特定保健指導事業の効果的かつ円滑な推進を図るために健康増進評価事業ヒアリングを実施しました。

また、28年度から、かながわ方式保健指導推進事業実施地域になった平塚市において研修会、検討会及び事業実施について参加支援しました。

(1) 地域禁煙サポート事業

がんをはじめとする生活習慣病予防対策を推進するため、その大きな原因といわれている喫煙率の低下を目指し、研修会、禁煙教育等を実施しました。

地域禁煙サポート研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
3月2日	講演 「心に響く！学校における禁煙支援～抱えている荷物は何ですか～」	神奈川県麻薬等薬物相談員会副会長 山崎 健	学校の教職員（小、中、高、養護学校、大学、専門学校等）、市町・保健福祉事務所職員等、一般の研修受講希望者	平塚保健福祉事務所	39

(2) 高校生への喫煙防止教育

「特別な予算措置を伴わない事業(高校生への喫煙防止教育の実施)」に基づく喫煙防止教育を実施しました。

月 日	内 容	講 師	開 催 校	参加者数
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ たばこの有害物質が及ぼす身体への害について ・ 受動喫煙による害について ・ 加熱式たばこについて 	当所保健師	県立二宮高等学校	280

(3) 健康増進事業評価

神奈川県健康増進事業評価実施要領に基づき、ヒアリング（会議）の中で課題や取組みについて協議し合い、管内の健康増進事業の推進を図りました。

月 日	内 容	会 場	出 席 者 数	
6月28日	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進事業・生活習慣病対策(発症予防・重症化予防・医療費等)に関する課題・取組みについて 健康増進事業評価について 	平塚保健福祉事務所	平塚市健康課 3 大磯町スポーツ健康課 1 二宮町健康づくり課 2	当所保健福祉課 3 企画調整課 2 県医療保険課 1 健康増進課 1

(4) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ地域の企業、事業所への普及啓発として管理者に対してがん予防やがん検診の重要性について理解を促し、従業員等への受診促進及び市町のがん検診の情報提供を行い、受診率の向上に努めました。

月 日	対象者	内 容	講 師	会 場	参加者数
4月～3月 (11回実施)	食品衛生責任者	がん検診のすすめ	当所保健師	平塚保健福祉事務所	603
4月～3月 (183回実施)	介護保険指定事業者等	がんの現状とがん検診のすすめ アンケート	当所保健師	各介護保険指定事業所	183
9月8日	労務安全衛生協会会員平塚支部労働衛生週間推進大会参加者	健康に関する情報の提供(パネル展示、リーフレット配布)健康クイズ、健康相談等	保健師等 当所職員	中央公民館	27
7月～11月 (6回実施)	イベント等 学校祭・ 大学祭参加者	同上	保健師等 当所職員	県立平塚看護専門学校等	331
随時	一般県民	リーフレット配布	当所保健師		1,270

(5) がん検診普及啓発セミナー

集客力のある場を活用して、がん検診・がん予防についての普及啓発を図るとともに、がん検診の受診率向上を目指した取り組みを実施しました。

また、当事者のがん体験談を通して、自分自身や家族の健康を考え行動できるよう支援しました。

月 日	対 象	内 容	会 場	参加者数
6月30日	一般県民 (二宮町立 二宮小学校 PTA)	【がん検診普及啓発キャンペーン】 「がん検診を受けよう！」 がん検診をPRするため、リーフレットを配布 がん検診普及啓発用アンケートを実施し、 グッズを配布	二宮町生涯 学習センタ ー ラディ アン	21
		【がん検診普及啓発セミナー】 がん体験者による講演会		
11月19日	一般県民	【がん検診普及啓発キャンペーン】 「がん検診を受けよう！」 「乳がんのセルフ チェック」 がん検診をPRするため、リーフレットを配布 がん検診普及啓発用アンケートを実施し、 グッズを配布	二宮町生涯 学習センタ ー ラディ アン	197

(6) かながわ方式保健指導促進事業

「かながわ保健指導モデル事業」により構築された「かながわ方式保健指導」の活用を県内市町村に普及します。

今年度は、平塚市が実施する（平塚市糖尿病研究室）について、支援を行いました。

支援先	支援回数	支援者数（実）	支援者数（延）
平塚市	12	2	15

(7) 生活保護受給者の健康支援

健康状態に課題を持つ生活保護受給者を対象に重症化予防を目的として、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所生活福祉課と共同で健康支援を行いました。

対象実人数	訪問回数(延)	面接・電話回数(延)
5	23	30

17 受動喫煙防止対策

＜企画調整課＞

県民を受動喫煙による健康への悪影響から守ることを目的に平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共の施設における受動喫煙防止条例」について、条例の対象となる店舗に対して戸別訪問を実施し、条例への対応の状況確認を行い、条例で定める基準に適合していない場合は指導を行う等、条例の円滑な運用を図るとともに、施設管理者及び一般県民に対する普及啓発を実施しました。

組織再編により、平成26年4月から秦野市、伊勢原市、平成29年4月より藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町も所管しています。

(1) 戸別訪問実績

(件)

	第1種	第2種							特例第2種	条例対象外	合計
		飲食店	宿泊施設	娯楽施設	理容所	美容所	サービス店舗	計			
延訪問 (件)	739	65	0	11	12	32	30	150	58	0	947

(2) 施設管理者向け説明会

項目	場所	回数	参加者数
食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所、藤沢市保健所、茅ヶ崎市保健所 等	26	1,564

(3) 一般県民向け普及啓発

項目	箇所数	内容	
		グッズ (チラシ・ポケットティッシュ) 配布 (部)	その他
受動喫煙防止キャンペーン	5	2,550	
市町村 (健康) イベント	5	2,597	<ul style="list-style-type: none"> 呼気一酸化炭素濃度測定27人 肺年齢測定347人
企業イベント	1	27	<ul style="list-style-type: none"> 呼気一酸化炭素濃度測定27人
配架 (公民館等)	5	520	

第3章

くらしを支える福祉サービス

- 1 地域福祉
- 2 介護保険
- 3 福祉の貸付
- 4 生活保護
- 5 特別障害者手当等の支給
- 6 女性保護、母子・父子福祉
- 7 児童福祉

1 地域福祉

＜保健福祉課＞

高齢者福祉をはじめ、あらゆる福祉分野において、近年、ますます地域福祉の重要性が高まり、地域の役割が増大している中、きめ細やかな施策を推進するため、地域における福祉活動の中心を担っている民生委員・児童委員や障害福祉相談員に対し、活動経費の助成や研修等の支援を行いました。

また、介護と医療、障害等各分野の連携が求められ、地域の活動が活発になっている中、地域ケア会議をはじめ多職種連携の会議等に参加し、制度横断的、広域的な立場から情報提供等の支援を行いました。

(1) 民生委員・児童委員

定数及び活動状況

	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主 任 児童委員	合 計			
平塚市	360	46	406	6,570	62,817	82,502
藤沢市	482	35	517	6,262	74,951	99,289
茅ヶ崎市	298	26	324	5,194	53,074	60,867
秦野市	236	24	260	3,681	44,791	60,030
伊勢原市	128	13	141	3,797	21,927	22,773
寒川町	68	5	73	660	10,372	20,087
大磯町	52	2	54	472	7,647	9,817
二宮町	44	3	47	945	7,781	7,510
合 計	1,668	154	1,822	27,581	283,360	362,875

(2) 障害福祉相談員

身近な地域で当事者や家族の目線に立った相談援助を行う障害福祉相談員に対する研修会を実施しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
10月20日	「障害福祉相談員のセルフケア 「私」と「仲間」と、その先の 存在を大切にするために」	山梨県立大学 人間福祉学部 准教授 山中 達也	茅ヶ崎市役所 会議室 1	23

(3) 成年後見制度の支援

行政成年後見関係者に対し、成年後見制度の理解を深めるため、事例検討会を実施しました。また、市町成年後見制度担当者・社会福祉協議会担当者等による意見交換会を実施しました。

月 日	内 容	出 席 者	会 場	参加者数
7月12日	市町村対応困難事例検討会 (湘南圏域)	市町職員	平塚保健福祉事務所	17
	成年後見制度に関する意見交換会 (湘南圏域)	市町職員、社会福祉協議会職員		32
1月18日	市町村対応困難事例検討会 (湘南圏域)	市町職員	藤沢合同庁舎	15

(4) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業

「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の普及啓発を行いました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
8月3日	事業協力 二宮町学童保育所での障害理解講座 (協力 二宮町社会福祉協議会)	神奈川県聴覚障害者協会 二宮町聴覚障害者協会	二宮小学校	60
3月24日	寒川町地域福祉フォーラム2018 「あなたの悩みは社会の宝物です ～ひるまず つながり わかちあう 私と家族と福祉のはなし～」	作家 田口 ランディ	寒川町健康管理センター	77

(5) 障害者自立支援協議会への支援

ア 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク形成事業

湘南西部障害保健福祉圏域における相談支援ネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域のかつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図るため、事業委託先である社会福祉法人常成福祉会丹沢自律生活支援センターの活動を支援しました。

会 議 名	回数
湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会	3
相談支援ネットワーク	2
重症心身障害児及び医療的ケアを必要とする方の支援ネットワーク	2

イ 市町自立支援協議会

会 議 名	回数
平塚市障がい者自立支援協議会	3
地域生活支援部会 精神分科会	12
地域生活支援部会 身障分科会	0
こども部会	2
大磯町・二宮町自立支援協議会	1
部会	4

(6) 管内市町等への支援

会 議 名	回数
平塚市成年後見支援 ネットワーク連絡会	2
大磯町地域ケア会議	6
二宮町地域ケア会議	7
平塚市包括支援センター 地域担当者連絡会	3
大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター利用者団体連絡会 横溝記念まつり実行委員会	2
障害者差別解消支援地域協議会 湘南西部圏域モデル協議会	3

2 介護保険

＜保健福祉課＞

介護保険指定事業者に対して、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を図るため、指導を実施しました。

組織再編により、平成29年4月から藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町も所管しています。

(1) 集団指導

介護保険指定事業者に対して、介護給付サービスの取り扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点について、神奈川県高齢福祉課及び他の保健福祉事務所と合同で講習会を実施しました。

月 日	内 容	会 場	対象事業者数	参加事業者数
5月9日	介護保険指定事業者等 指導講習会	藤沢市民会館	2,356	2,063
5月11日		神奈川県総合医療会館		
5月16日		海老名市文化会館		
5月17日		神奈川県総合医療会館		
5月18日		小田原市生涯学習センターけやき		
5月19日		伊勢原市民文化会館		
5月22日		神奈川県総合医療会館		

※ 対象事業者数は、平成29年4月1日現在の平塚保健福祉事務所管内の介護保険指定事業者数（介護予防を含む）

※ 参加事業者数は講習会出席者数

(2) 実地指導

指定基準に基づき、介護保険指定事業所等に対し、介護給付サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図るため、実地指導を行いました。

サービス区分	実地指導対象数		実地指導実施数	
	介護保険	介護予防	介護保険	介護予防
居 宅 介 護 支 援	326		61	
訪 問 介 護	308	290	72	69
訪 問 入 浴 介 護	23	22	5	5
訪 問 看 護	85	85	26	26
通 所 介 護	283	362	46	61
通所リハビリテーション	27	26	4	4
訪問リハビリテーション	4	4	2	2
短期入所生活介護	75	72	17	15
短期入所療養介護	31	31	6	6
特定施設入居者生活介護	89	83	12	12
福祉用具貸与	52	50	14	13
福祉用具販売	52	51	14	13
介護老人福祉施設	56		14	
介護療養型医療施設	4		2	
介護老人保健施設	27		4	
合 計	1,442	1,076	299	226

3 福祉の貸付

＜保健福祉課＞

母子・父子家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を図るために必要な資金の貸し付けを行いました。

母子・父子福祉資金等の貸付件数

区 分	事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	児童 扶養	合計	
平塚市	母子		6			1		2	44	46	2			101	
	寡婦														
	特母														
藤沢市	母子		1					1	19	22	3			46	
	寡婦							1						1	
	特母														
茅ヶ崎 市	母子		2					2	19	19				42	
	寡婦														
	特母														
寒川町	母子								3	1				4	
	寡婦														
	特母														
大磯町	母子								2	2				4	
	寡婦														
	特母														
二宮町	母子								1	2				3	
	寡婦														
	特母														
合 計	母子	0	0	9	0	0	1	0	5	88	92	5	0	0	200
	寡婦	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	特母	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※「母子」とは「母子・父子福祉資金」、「寡婦」とは「寡婦福祉資金」、「特母」とは「特別母子福祉資金」の略です。

4 生活保護

＜生活福祉課＞

生活保護法は、憲法第25条によって保障される生存権を実現するための制度のひとつとして制定された法律であり、最低限度の生活の保障とその自立の助長を目的としています。

当所では、生活等の相談に応じるとともに生活保護法の目的を達成するべく、扶助費の支給等により保護を実施するとともに就労支援や児童の健全育成にも取り組み、自立への支援を行いました。

当管内（大磯町、二宮町）の保護世帯数は、平成17年度の246世帯をピークに一時横ばい傾向を示しましたが、平成20年のリーマンショック後の不況、特に雇用情勢に悪化の影響を受け、平成21年度から大幅な増加に転じましたが、近年伸び率は鈍化し特徴として、高齢化世帯の占める割合が徐々に大きくなっています。

(1) 生活相談事業

(平成29年度)

世帯類型	相談の主な理由														合計
	世帯主の傷病	世帯員の傷病	要介護状態	稼働者の死亡離別 (DVを含む)	稼働収入の減少・喪失					社会 保障 給付金の 減少・喪失	貯金の減少・喪失	扶養の減少・喪失	ケース移管	その他	
					定年・自己都合	解雇・勤務先都合	老齢による収入減	事業不振・倒産	その他						
合計	67	4		7	8	9			4	5	56	9	1	23	193

(2) 扶助別被保護世帯数・人員の状況

(平成30年3月分)

区分		生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	保護を受けた者	保護率(%)
大磯町	世帯数	152	145	10	47	156		7		183	7.50
	人員	191	185	12	49	191		8		233	
二宮町	世帯数	197	189	16	36	200		7		227	9.38
	人員	252	240	19	37	243		7		291	
合計	世帯数	349	334	26	83	356	0	14	0	410	8.91
	人員	443	425	31	86	434	0	15	0	524	

(3) 保護の開始・廃止の状況

ア 理由別開始世帯の状況

(平成29年度)

区分	傷病		要介護状態	働いていた者		失業		老齢による収入の減少	事業不振・倒産	その他の働きによる収入の減少	社会保障給付金の減少・喪失	預貯金の減少・喪失	仕送りの減少・喪失	ケース移管	その他	合計
	世帯主	世帯員		死	離別等	定年・自己都合	勤務先都合(解雇等)									
大磯町	7							5			1	8	3		9	33
二宮町	6	2	1			2	2	2	1	1	2	3	1	1	7	31
合計	13	2	1	0	0	2	2	7	1	1	3	11	4	1	16	64

イ 理由別廃止世帯の状況

(平成29年度)

区分	世帯主の傷病の治癒	世帯員の傷病の治癒	死亡	失踪	稼働収入の増加	働き手の転入	社保給付金の増加	仕送りの増加	親族縁者等の引取	施設入所	医療費の他法負担	ケース移管	その他	合計
大磯町			16	1	9		3					1	18	48
二宮町			5	1	7		1					1	17	32
合計	0	0	21	2	16	0	4	0	0	0	0	2	35	80

(4) 世帯類型別被保護世帯の状況

(平成30年3月分)

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯	合計
大磯町	94	9	26	26	28	183
二宮町	136	14	22	35	20	227
合計	230(56.1)	23(5.6)	48(11.7)	61(14.9)	48(11.7)	410(100.0)

※ () 内は、総数に占める割合 (%)

(5) 労働力類型別被保護世帯の状況

(平成30年3月分)

区分	稼働世帯				世帯員稼働	非稼働世帯	合計
	世帯主が働いている世帯						
	常用	日雇	内職	その他			
大磯町	25	3	2	3	6	144	183
二宮町	20	0	4		4	199	227
合計	45	3	6	3	10	343	410

(6) 医療扶助

(平成30年3月分)

区分	入院			入院外			合計
	精神	その他	計	精神	その他	計	
大磯町	5	12	17	1	173	174	191
二宮町	7	5	12	3	228	231	243
合計	12	17	29	4	401	405	434

※ 他法により医療費が賄われ、医療扶助の給付がないものは含まれていません。

(7) 生活保護施設措置状況

(平成30年3月分)

区分	救護施設	更生施設	合計
大磯町	3	1	4
二宮町	2		2
合計	5	1	6

※ 町の区分は発生地による

(8) 保護の開始・廃止世帯件数の推移

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
開始	59	27	41	61	66	93	99	80	73	57	73	66	64
廃止	46	34	34	45	57	58	64	63	60	55	75	38	80

(9) 保護世帯数等の推移（年度平均）

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
大磯町	世帯数	103	97	96	101	106	114	131	146	151	162	155	172	176
	人員	144	138	142	145	144	162	197	218	216	223	205	220	220
	保護率 ‰	4.42	4.21	4.33	4.42	4.39	4.93	6.00	6.65	6.63	6.87	6.41	6.98	6.99
二宮町	世帯数	143	148	149	151	169	182	204	216	222	220	229	225	232
	人員	206	210	203	207	232	256	287	300	303	290	300	290	296
	保護率 ‰	6.81	7.00	6.83	6.98	7.83	8.66	9.97	10.25	10.47	10.06	10.54	10.27	10.56
中郡	世帯数	246	245	245	252	275	296	335	362	373	382	384	397	406
	人員	350	348	345	352	376	418	484	518	519	512	505	510	516
	保護率 ‰	5.38	5.55	5.53	5.64	6.02	6.70	8.07	8.35	8.44	8.37	8.36	8.53	8.67

(10) 生活保護費の状況

（単位：円）

区 分	大磯町	二宮町	合 計
生活扶助	106,727,444	150,131,528	256,858,972
住宅扶助	63,195,504	85,628,427	148,823,931
教育扶助	1,484,366	2,293,885	3,778,251
介護扶助	64,587	29,808	94,395
医療扶助	2,526,435	3,481,133	6,007,568
出産扶助			0
生業扶助	1,661,382	1,493,878	3,155,260
葬祭扶助	244,590	1,167,172	1,411,762
保護施設事務費	7,285,204	4,003,238	11,288,442
合 計	183,189,512	248,229,069	431,418,581
就労自立給付金	100,000	95,820	195,820
総 計	183,289,512	248,324,889	431,614,401

※ 医療扶助、介護扶助は、当所で直接支出した額であり、支払基金経由分（介護扶助は、国保連合会経由分）は含みません。

5 特別障害者手当等の支給

＜生活福祉課＞

日常生活において常時介護を必要とする在宅の重度障害児者に対し、町と連携して特別障害者手当等の支給事務を行いました。

特別障害者手当等の支給状況

（平成30年3月31日現在）

区分	障害児福祉手当	福祉手当（経過措置分）	特別障害者手当	合 計
大磯町	8	1	10	19
二宮町	6	1	19	26
合計	14	2	29	45

6 女性保護、母子・父子福祉

＜生活福祉課＞

母子・父子・寡婦世帯に対する離婚等の家庭問題、就労、経済、子どもの養育等の相談を受け、生活の安定と自立に向けた支援、福祉資金の貸付等と女性や母子の一時保護を実施しました。

(1) 母子・父子自立支援員の相談指導実施状況

区 分		相談件数				
		大磯町	二宮町	その他	合 計	
生 活 一 般	住 宅	5	3	2	10	
	医 療 ・ 健 康	病 気	0	1	0	1
		障 害	1	1	0	2
		そ の 他	0	0	0	0
	家 庭 紛 争	配偶者等の暴力	14	7	2	23
		そ の 他	2	2	4	8
	就 労	求 職 ・ 転 職	1	2	2	5
		資格取得・職業訓練	10	5	0	15
		職 場 の 悩 み	0	0	2	2
		そ の 他	2	5	1	8
	結 婚	0	0	0	0	
	養 育 費	0	1	0	1	
	借 金	0	0	0	0	
そ の 他	1	1	1	3		
小 計	36	28	14	78		
児 童	養 育	保 育 所 入 所	0	1	1	2
		虐 待	0	1	0	1
		そ の 他	0	1	0	1
	教 育	0	0	0	0	
	非 行	0	0	0	0	
	就 職	1	0	0	1	
	そ の 他	0	1	0	1	
小 計	1	4	1	6		
経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護	母子福祉資金	貸 付	14	12	0	26
		償 還	11	10	6	27
	父子福祉資金	貸 付	0	1	0	1
		償 還	0	3	0	3
	寡婦福祉資金	貸 付	0	0	0	0
		償 還	0	0	0	0
	公 的 年 金	1	0	1	2	
	児 童 扶 養 手 当	0	0	0	0	
	生 活 保 護 税	3	0	1	4	
	生 活 福 祉 資 金	0	0	0	0	
そ の 他	2	2	0	4		
小 計	31	28	8	67		
そ の 他	売店設置（法第25条）	0	0	0	0	
	たばこ販売（法第26条）	0	0	0	0	
	母子・父子世帯向公営住宅（法第27条）	0	0	0	0	
	母子・父子福祉施設の利用	0	0	0	0	
	母子生活支援施設（児童福祉法第38条）	0	0	0	0	
小 計	0	0	0	0		
合 計	68	60	23	151		

(2) 女性相談員の相談実施状況

区分	相談内容									処理状況										
	施設入所希望	経済問題	職業問題	住宅問題	家族問題		暴力団・ヒモ等の問題	更正相談	その他	合計	就職・自営	結婚	家庭への送還	福祉事務所へ	女性相談所へ	他府県の女性相談所へ	その他関係機関・施設へ	助言指導	その他	合計
					夫婦間問題	その他														
面接相談	大磯町	1			1	5				7	1			2	2			2		7
	二宮町		1			3				4								4		4
	その他	2		1		1				4	1			1	1		1			4
	合計	3	1	1	1	9				15	2			3	3		1	6		15
電話相談	大磯町		1		3	8	1			13								13		13
	二宮町					3	1			4								4		4
	その他		1			3				4								4		4
	合計		2		3	14	2			21								21		21

年齢区分	18歳未満	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	年齢不詳	合計
人数 (面接+電話相談)		4	2	3	13	5	4	5	36

7 児童福祉

<生活福祉課>

児童福祉法に基づく助産施設、母子生活支援施設利用に関する相談、支援等を行うとともに、児童虐待等について、児童相談所、市町等の関係機関と連携し、その防止や支援を行いました。

(1) 助産施設利用状況

社会保険等の出産育児一時金等の充実により、制度の利用者は、生活保護受給者等一部に限られてきており、近年利用がほとんど無い状況で、平成29年度も利用がありませんでした。

(2) 母子生活支援施設入所状況

当所管内には、母子生活支援施設がなく、また、県内にも少ないことから、保護を要する母子家庭への対応は厳しい状況にあり、本県所管外の施設を利用することになっています。平成29年度は1家族が退所し、新たな利用はありませんでした。

第4章

保健・医療・福祉の基盤づくり

- 1 湘南西部地区保健医療福祉推進会議
- 2 地域医療連携の推進
- 3 高齢者保健福祉計画の推進
- 4 健康危機管理
- 5 人材育成
- 6 医務・薬務
- 7 献血
- 8 免許取扱事務
- 9 保健衛生等表彰

1 湘南西部地区保健医療福祉推進会議

＜企画調整課＞

県保健医療計画で定められた湘南西部地区二次保健医療圏域における、保健、医療、福祉に関する計画の策定、着実な推進し、保健、医療、福祉に係る重要事項を協議するとともに、病床の機能分化・連携を目的とした地域医療構想を推進するため、湘南西部地区二次保健医療圏域内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、関係団体、行政機関等で構成する湘南西地区保健医療福祉推進会議を開催しました。

また、この推進会議の下に、地域保健と職域保健における連携の推進について協議・検討を行う地域・職域連携推進専門部会を設置し、開催しました。

区 分	月 日	内 容	会 場	出席者数
湘南西地区 保健医療福 祉推進会議	8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・湘南西部地域の現状分析について ・湘南西部地区における病床整備に係る事前協議について 	平塚保健福祉事務所	25
	10月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次保健医療計画素案たたき台について ・基準病床数について ・医療と介護の一体的な体制整備について ・地域医療介護総合確保基金について 	平塚保健福祉事務所	28
	1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県保健医療計画改定素案について ・基準病床数について ・医療と介護の一体的な体制整備に係る調整について ・公的医療機関等2025プランについて ・地域・職域連携推進専門部会における審議及び事業の実施状況について 	平塚保健福祉事務所	29
地域・職域 連携推進専 門部会	1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度地域・職域連携推進事業の実施状況 ・「若い世代から働き盛りの健康力アップ事業」普及啓発媒体について ・平成30年度地域・職域連携推進事業の実施計画案 ・地域・職域連携推進事業の今後の取組みについて ・「働く人の健康情報冊子～メンタルヘルス版～」について 	平塚保健福祉事務所	12

2 地域医療連携の推進

＜企画調整課＞

人口の急速な高齢化等とともに進む医療を取り巻く環境の大きな変化の中で、地域住民が「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」ことを基本として、保健医療提供体制を整備するため、地域包括ケアシステムの構築及び在宅医療の推進に向け、「地域包括ケア会議地域包括ケア看護部会」及び「地域包括ケア会議・地域在宅医療推進協議会合同会議」を開催しました。

在宅医療・地域包括ケア推進事業

保健・医療・福祉との連携・協働体制の整備を図るため、「地域包括ケア会議地域包括ケア看護部会」及び「地域包括ケア会議・地域在宅医療推進協議会合同会議」を開催しました。

ア 地域包括ケア会議地域包括ケア看護部会

月 日	内 容	会 場	出席者数
6月27日	在宅療養者の避難行動支援 実技体験・訓練「けがの手当て」	平塚市立 太洋中学校	113
9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア会議・地域包括ケア看護部会の設置について ・ 各市町の地域包括ケア・在宅医療介護連携推進事業の実施状況等について ・ 神奈川県地域医療構想の概要について ・ 医療・在宅・施設の連携に関わる各関係機関の看護に係る取組みと課題について ・ 今後の方向性について 	平塚保健 福祉事務所	20

イ 地域包括ケア会議・地域在宅医療推進協議会合同会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域包括ケア及び在宅医療に係る関係機関の取組み状況の報告及び意見交換について <ol style="list-style-type: none"> (1) 在宅医療等の推進に係る平成 29 年度実施状況及び平成 30 年度実施計画 (2) 地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業について (3) 市町の地域包括ケアに向けた取組み及び地域ケア会議の状況について (4) 地域包括ケア会議・地域包括ケア看護部会の開催結果について (5) 平塚市在宅医療・介護連携支援センターの取組状況について 2 地域における連携体制構築に当たっての課題について 	平塚保健 福祉事務所	23

3 高齢者保健福祉計画の推進

＜企画調整課＞

戦後生まれのいわゆる「団塊の世代(昭和22年から24年生まれ)」が75歳以上の高齢者となる2025年には、県民のおよそ4人に1人が高齢者となることから、これまでの施策の実施状況や新たな課題などを踏まえた改定を行い、平成30年3月に「かながわ高齢者保健福祉計画」の改定を行ないました。

当所では、湘南西部保健福祉圏域内市町の計画策定の支援・調整等を実施し、圏域内市町との連携を図るよう努めました。

4 健康危機管理

＜企画調整課、保健予防課、環境衛生課＞

(1) 平塚保健福祉事務所地域医療体制対策会議

地域の実情に応じた新型インフルエンザ等対策における地域医療体制の整備の推進を目的に、平塚保健福祉事務所地域医療体制対策会議を開催しました。

また、新型インフルエンザの発生を想定した机上訓練を実施しました。

会議の開催

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月22日	<ul style="list-style-type: none">・ 「神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定案について・ 新型インフルエンザ等感染症対応訓練（実動訓練）の実施について・ 新型インフルエンザ等感染症対策に関する地域からの課題等について	平塚保健福祉事務所	17

訓練の実施

月 日	内 容	会 場	出席者数
12月8日 11日	新型インフルエンザ等の海外発生期から県内発生早期における情報伝達、帰国者接触者相談センター及び帰国者接触者外来での患者対応を想定した机上訓練を行った。	平塚保健福祉事務所	15

(2) 湘南西部地域災害医療対策会議

神奈川県医療救護計画に基づき、災害時医療救護に関する活動、訓練等のあり方の検討を行うため、地域災害医療対策会議を開催しました。

ア 湘南西部地域災害医療対策会議（地域災害医療コーディネーター会議）

月 日	内 容	会 場	出席者数
2月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までに検討すべき事項の再確認 (会議の運営について、連絡体制について) ・発災時の湘南西部地域災害医療対策会議に関する検討事項について (開催場所、コーディネーター当番表、通信手段、連絡先の確保、EMISの普及、今後の湘南西部地域における災害医療への対応について) 	平塚保健福祉事務所	8

イ 湘南西部地域災害医療対策会議（全体会）

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時の湘南西部地域災害医療対策会議等に関する検討事項について ・発災時の会議の開催について ・湘南西部地域災害医療コーディネーター当番表 ・通信手段の確保 ・関係機関連絡先の共有（資料3） ・広域災害救急医療情報システム（EMIS）の普及 	平塚保健福祉事務所	30

5 人材育成

<全課>

地域の様々なニーズや課題に対応できる保健・医療・福祉の幅広い知識と技術の共有を図るため、地域の実態に即した内容の研修を実施しました。また、看護学生などの実習生を受け入れ、指導しました。

(1) 人材育成

研 修 名	対 象	担当課
管内保健師研究会・研修会	保健福祉事務所及び管内市町保健師	企画調整課
保健衛生研修 (在宅栄養士研修、在宅歯科衛生士研修)	市町及び県の母子保健従事者、栄養士、歯科衛生士、在宅栄養士、在宅歯科衛生士等	
保健医療福祉系学生実習受け入れ	医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、社会福祉士志望学生等	
JICA来日研修生実習受け入れ	諸外国医療従事者	
禁煙サポート研修会	地域の事業所等で労働安全衛生、健康づくりを担当する職員等	
特定給食施設等講習会	特定給食施設等栄養士等	保健福祉課
地域活動栄養士研修会	栄養士会員、在宅栄養士	
食生活改善推進団体育成	食生活改善推進員リーダー	
障害福祉相談員研修	障害福祉相談員	
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	管内歯科保健事業従事歯科衛生士	
母子保健支援者研修	管内母子保健担当職員等	
難病患者在宅ケア従事者研修会	訪問看護師、介護支援専門員等	保健予防課
地域自殺対策人材養成研修	管内企業人事担当者、企業職員、相談支援事業所職員、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、養護教諭、教諭、管内市町保健福祉関係者等	
結核医療従事者研修会	医療機関職員等	
感染症予防研修会	介護保険事業所、障害児者・児童福祉施設等の職員	
食品衛生指導員研修会	食品衛生指導員	食品衛生課

※ 研修の詳細は、各事業の項に掲載

(2) 保健衛生研修

保健・医療・福祉に対する専門知識の習得や技術の向上を目的として、母子保健対策推進研修、在宅歯科衛生士研修、在宅栄養士研修の3研修を合同で実施しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
8月17日	「伝わる」デザインセミナー	県政策局知事室 相馬 敏江	伊勢原シテイプラザ	31
1月11日	高齢者の食べる機能を支える	医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院 栄養サポート室長 高崎 美幸	平塚保健福祉事務所	49
2月26日	管内の大規模災害発生時の被害想定をしてみよう	県理学療法士会 下田 栄次	平塚保健福祉事務所 秦野センター	30

(3) 保健医療福祉学生等実習

ア 合同オリエンテーションの開催

当所で実習を受け入れる保健師、看護師、栄養士学生等を対象にオリエンテーションを実施し、保健福祉事務所業務の概要説明及び実習事前指導を実施しました。

区分	月 日	内 容	会 場	学校数	実習生数
前期	4月21日	平塚保健福祉事務所業務の概要について 市町における保健事業について等	平塚保健福祉事務所	9	65
後期	9月1日			6	31

イ 実習実施状況

区 分	学校数	実習生数
医 師	0	0
保 健 師	5	11
看 護 師	6	66
助 産 師	0	0
管 理 栄 養 士	4	15
歯 科 衛 生 士	1	7
社 会 福 祉 士	1	1
合 計	17	100

6 医務・薬務

<企画調整課、環境衛生課>

安全で適正な医療の確保を確保するため、医療法に基づく医療施設等の許可、届出事務及び病院等に対し立入検査を実施するとともに、医薬品の適正な管理・販売を徹底するため、薬局、医薬品販売業者等に対し、立入検査を実施しました。

(1) 医療施設の状況

ア 医療施設数・人口10万対医療施設数

(平成30年3月31日現在)

区分	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平塚市	9	3.5	189	73.1	138	53.4	6	2.3	395	152.8	73	28.2	28	10.8
大磯町	1	3.2	18	57.2	16	50.9	1	3.2	49	155.8	2	6.4	4	12.7
二宮町	-	-	22	78.5	20	71.4	3	10.7	64	228.5	6	21.4	9	32.1
管内計	10	3.1	229	72.0	174	54.7	10	3.1	508	159.8	81	25.5	41	12.9

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(平成29年10月1日現在)」より。)

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

イ 医療施設数・人口10万対の推移(管内)

(平成30年3月31日現在)

年度	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平成20年度	10	3.1	226	69.9	166	51.4	3	0.9	391	121.0	50	15.5	31	9.6
平成21年度	10	3.1	223	69.3	169	52.5	3	0.9	411	127.3	57	17.7	32	9.9
平成22年度	10	3.1	224	69.3	172	53.2	3	0.9	421	130.2	61	18.9	35	10.5
平成23年度	10	3.1	224	69.4	175	54.2	3	0.9	436	135.1	64	19.8	35	10.8
平成24年度	10	3.1	225	70.0	174	54.1	7	2.2	449	139.7	63	19.6	36	11.2
平成25年度	10	3.1	235	73.5	172	53.8	9	2.8	461	144.2	65	20.3	38	11.9
平成26年度	10	3.1	228	71.6	170	53.4	9	2.8	481	151.1	72	22.6	39	12.2
平成27年度	10	3.1	226	71.0	170	53.4	10	3.1	485	152.4	75	23.6	41	12.9
平成28年度	10	3.1	224	70.5	176	55.4	10	3.2	492	154.7	80	25.2	41	12.9
平成29年度	10	3.1	229	72.0	174	54.7	10	3.1	508	159.8	81	25.5	41	12.9

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(平成29年10月1日現在)」より。)

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

ウ 病床数・人口10万対病床数

(平成30年3月31日現在)

区分	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
平塚市	1,117	432.2	580	224.4	603	233.3	6	2.3	2,306	892.3	104	40.2	2,410	932.5
大磯町	312	992.1	-	-	-	-	-	-	312	992.1	-	-	312	992.1
二宮町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
管内計	1,429	449.5	580	182.4	603	189.7	6	1.9	2,618	823.5	104	32.7	2,722	856.2

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(平成29年10月1日現在)」より。)

エ 病床数の推移

(平成30年3月31日現在)

年度	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
平成20年度	1,551	479.9	575	177.9	603	186.6	6	1.9	2,735	846.3	156	48.3	2,891	894.5
平成21年度	1,461	452.5	575	178.1	603	186.8	6	1.9	2,645	819.3	126	39.0	2,771	858.3
平成22年度	1,461	451.8	580	179.4	603	186.5	6	1.9	2,650	819.6	109	33.7	2,759	853.3
平成23年度	1,461	452.8	580	179.8	603	186.9	6	1.9	2,650	821.3	124	38.4	2,774	859.8
平成24年度	1,413	439.6	580	180.4	603	187.6	6	1.9	2,602	809.5	104	32.6	2,726	848.1
平成25年度	1,413	441.9	580	181.4	603	188.6	6	1.9	2,602	813.7	104	32.6	2,726	852.4
平成26年度	1,407	441.9	580	182.2	603	189.4	6	1.9	2,596	815.3	104	32.7	2,700	848.0
平成27年度	1,393	437.8	580	182.3	603	189.5	6	1.9	2,582	811.4	104	32.7	2,686	844.1
平成28年度	1,367	430.1	580	182.5	603	189.7	6	1.9	2,556	804.2	104	32.7	2,660	836.9
平成29年度	1,429	449.5	580	182.4	603	189.7	6	1.9	2,618	823.5	104	32.7	2,722	856.2

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(各年10月1日現在)」より。)

オ 許可・届出取扱い件数

(平成30年3月31日現在)

区 分	病 院	一般診療所	歯科診療所	X線装置	助産所	あん摩・はり・きゅう	柔道整復	歯科技工所
許 可	開 設	0	22	-	-	-	-	-
	使 用	12	-	-	-	-	-	-
	変 更	20	10	3	-	-	-	-
届 出	開 設	1	27	5	62	-	24	7
	変 更	8	37	11	5	-	22	12
	休再廃	1	25	5	56	-	13	6
計	42	121	24	123	-	59	25	-

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

カ 病院、診療所立入検査実施状況

区 分	実施数	指導結果					
		文書指摘		文書指導		口頭指導	
		医療機関数	件 数	医療機関数	件 数	医療機関数	件 数
病 院	10					2	2
診療所	7			1	2	4	11

キ 新規開設診療所等現地確認実施状況

年 度	一般診療所	歯科診療所	助産所	施術所		歯科技工所
				あん摩・はり・きゅう	柔道整復	
平成22年度	3	1		11	7	1
平成23年度	6	8		9	5	1
平成24年度	6	3	1	12	2	2
平成25年度	8	4		19	5	3
平成26年度	1	3		16	9	1
平成27年度	6	3		10	4	3
平成28年度	8	7		11	9	1
平成29年度	3	3	-	9	6	-

※ 新規開設診療所等現地確認は平成22年度より実施。

(2) 医療従事者の状況

管内に在住又は就業する医療従事者数の調査については、隔年で実施されており、公表されている最新の状況（平成28年12月末現在）は次のとおりです。

区 分	医 師		歯 科 医 師		薬 剤 師	
	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対
平塚市	344	133.3	165	63.9	639	247.6
大磯町	77	244.7	22	69.9	75	238.3
二宮町	19	67.3	14	49.6	55	194.7
管内計	440	138.4	201	63.2	769	241.9
神奈川県	19,476	213.0	7,298	79.8	22,104	241.7

区 分	保 健 師		助 産 師		看 護 師		准 看 護 師	
	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対
管内計	184	31.4	142	24.2	4,948	843.9	617	105.2
神奈川県	2,149	23.5	2,322	25.4	62,794	686.6	8,958	97.9

※ 医師、歯科医師、薬剤師数は県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。

※ 保健師、助産師、看護師、准看護師数は県保健人材課「業務従事者届集計結果」より抜粋。

なお、保健師、助産師、看護師、准看護師数は秦野市・伊勢原市を含む。

(3) 薬局・医薬品販売業等の状況

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

(平成30年3月31日現在)

区 分	薬 局	医 薬 品 販 売 業			薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 販 売 業	薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 業	医 薬 品 等 製 造 業	高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 理 医 療 機 器 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 内 計
		店 舗	卸 売	計						
平塚市	122	43	18	61	10	10	14	114	580	911
大磯町	14	6	1	7			2	11	55	89
二宮町	16	6		6				8	62	92
管内計	152	55	19	74	10	10	16	133	697	1,092

イ 許可・届出取扱い件数

区 分	薬 局	医 薬 品 販 売 業			薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 販 売 業	薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 業	高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 理 医 療 機 器 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 内 計
		店 舗	卸 売	計					
新規許可申請	10	4		4			16	60	90
許可更新申請	35	5	3	8	2	2	8		55
変更届	310	109	10	119	3	3	56	98	589
廃止届	7	2	1	3	1	1	7	20	39

ウ 薬事監視指導状況

区 分	薬局	医薬品販売業			薬局製 造販売 医薬品 製造 販売業	薬局製 造販売 医薬品 製造業	医薬品 等製造 業	高度管 理医療 機器等 販売業 ・ 貸与業	管理医 療機器 販売業 ・ 貸与業	管内計
		店舗	卸売	計						
対 象 数	152	55	19	74	10	10	16	133	697	1,092
監視指導件数	82	19	6	25	8	8	2	51	113	289

7 献血

＜企画調整課＞

保健福祉事務所、各市町、神奈川県赤十字血液センターが協力して、住民及び事業所等の理解を深めるため、献血の推進に取り組みました。

(1) 目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区 分	200mL献血		400mL献血		合 計	
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)
平塚市	292.0	53.4	6,538.0	2,082.0	6,830.0	2,135.4
大磯町	2.0	0.2	117.0	36.0	119.0	36.2
二宮町	0.0	0.4	43.0	13.2	43.0	13.6
管内計	294.0	54.0	6,698.0	2,131.2	6,992.0	2,185.2

(2) 年度別目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区 分	200mL献血		400mL献血		合 計	
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)
平成20年度	44	29	2,460	2,777	2,504	2,806
平成21年度	45	7	2,475	2,367	2,520	2,374
平成22年度	41	3	2,458	2,566	2,499	2,569
平成23年度	56	4	1,710	2,350	1,766	2,353
平成24年度	33	33	2,135	2,470	2,168	2,502
平成25年度	32	85	2,065	2,559	2,097	2,644
平成26年度	55	87	2,096	2,743	2,151	2,830
平成27年度	77	82	1,954	2,688	2,031	2,770
平成28年度	64	59	2,435	2,614	2,500	2,673
平成29年度	294	54	6,698	2,131	6,992	2185.2

8 免許取扱事務

＜管理課、環境衛生課、食品衛生課＞

(1) 医療従事者関係

区 分	免許申請	書換・籍訂正	再 交 付	登録抹消	合 計
医 師	9	6	1	2	18
歯 科 医 師	1	2	1		4
薬 剤 師	33	7	1		41
保 健 師	18	17			35
助 産 師	1	4			5
看 護 師	138	76	5		219
准 看 護 師	2	6	4	2	14
栄 養 士	32	8	3		43
管 理 栄 養 士	24	4			28
診 療 放 射 線 技 師	3	1	1		5
臨 床 検 査 技 師	6	3			9
理 学 療 法 士	26	3	3		32
作 業 療 法 士	13	6	1		20
視 能 訓 練 士	1				1
受胎調節実地指導員					
衛生検査技師					
合 計	307	143	20	4	474

(2) 環境衛生関係

区 分	免許申請	訂 正	再 交 付	合格証明書交付	合 計
ク リ ー ニ ン グ 師					0

(3) 食品衛生関係

区 分	免許申請	書 換	再 交 付	合 計
ふ ぐ 包 丁 師	2			2
製 菓 衛 生 師	5			5
調 理 師	68	6	15	89
合 計	75	6	15	96

9 保健衛生等表彰

<企画調整課>

(1) 知事表彰（期日：平成29年11月20日実施）

ア 医療関係功労者

氏名	職業
松田 倫夫	医師
石黒 茂雄	歯科医師
石内 正佳	薬剤師
加藤 靖治	診療放射線技師

イ 環境衛生関係功労者

氏名	職業
杉本 隆史	獣医師

ウ 食品衛生関係功労者

氏名	職業
大久保 繁幸	飲食店営業

エ 地域公衆衛生活動功労者

氏名	職業
中館 恵利子	保健師

(2) 保健福祉事務所長表彰（期日：平成29年11月16日実施）

ア 医療関係功労者

（医師、歯科医師、薬剤師）

氏名	職業
菊池 良知	医師
露木 秀樹	歯科医師
藤江 政幸	歯科医師
平本 要	薬剤師

（看護師、歯科衛生士、医療関係事務補助者等）

氏名	職業
黄金井 光子	看護師
坂田 直美	看護師
成田 小百合	看護師
濱田 忠幸	診療放射線技師
大島 孝明	臨床検査技師
今関 由紀	理学療法士
井澤 直子	医療関係事務

イ 環境衛生関係功労者

氏名	職業
曾我 望	獣医師
古市 久紀	理容師

ウ 食品衛生関係功労者

氏 名	職 業
佐藤 昭	飲食店営業
柴森 唯一	飲食店営業

エ 地域公衆衛生活動関係功労者

氏 名	職 業 等
坂田 恭子	保健師
永井 知寿子	保健師
加藤 澄江	団体役員

オ 施設

施 設 名	代 表 者 名
(有)船橋屋織江	森田 邦夫
水野豆腐店	水野 久

第5章

健康で安心できる生活衛生対策

- 1 環境衛生営業施設等
- 2 生活環境施設
- 3 動物保護
- 4 毒物劇物、麻薬取扱施設等
- 5 食品衛生

1 環境衛生営業施設等

＜環境衛生課＞

県民生活に密着した理容所などの営業施設、プールなどの水浴場を県民が安心して利用できるよう監視指導を実施しました。

(1) 環境衛生営業施設数等及び監視指導状況

区 分	施設数				許可(確認) 件 数	廃止件数	監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計			
理 容 所	197	17	19	233	2	5	96
美 容 所	363	32	39	434	30	24	207
クリーニング所 (一 般)	65	5	4	74	1	4	31
クリーニング所 (取 次)	92	8	12	112	5	14	37
旅 行 館	25	3	1	29	1	1	18
興 行 場	6		1	7			5
公 衆 浴 場	16	5		21	1		13
合 計	764	70	76	910	40	48	407

(年度別環境衛生営業施設数の推移)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
理 容 所	248	245	240	238	235	236	236	233
美 容 所	406	413	408	407	417	420	428	434
クリーニング所	251	232	226	224	219	202	198	186
旅 行 館	33	32	30	30	30	28	29	29
興 行 場	7	7	7	7	7	7	7	7
公 衆 浴 場	27	26	24	22	22	21	20	21
合 計	972	955	935	928	930	914	918	910

(2) 海水浴場等施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指 導件数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
海 水 浴 場	1	1		2	9
更衣休憩所	1	6		7	34
プ ー ル	12	4	3	19	19
合 計	14	11	3	28	62

(3) 海水浴場の水質検査実施状況

区 分	ふん便性 大腸菌群数 (個/100ml)	COD (mg/L)	透明度 (m)	油 膜	p H	判 定
大磯 第1回	17	3.4	1以上	無	8.2~8.3	可(水質B)
大磯 第2回	<2	3.5	1以上	無	7.8~8.3	可(水質B)

(4) 講習会開催状況

月 日	内 容	講 師	場 所	対象者	回数	参加者数
6月20日	平成29年海水浴場関係者衛生講習会	当所衛生監視員	大磯町役場	海水浴場関係業者	1	8
3月6日	平成29年度環境衛生(美容所)講習会	当所医師及び衛生監視員	平塚市勤労会館	環境業者	1	159

2 生活環境施設

＜環境衛生課＞

快適な生活環境を確保するため、浄化槽、特定建築物、水道施設などの監視指導を実施しました。

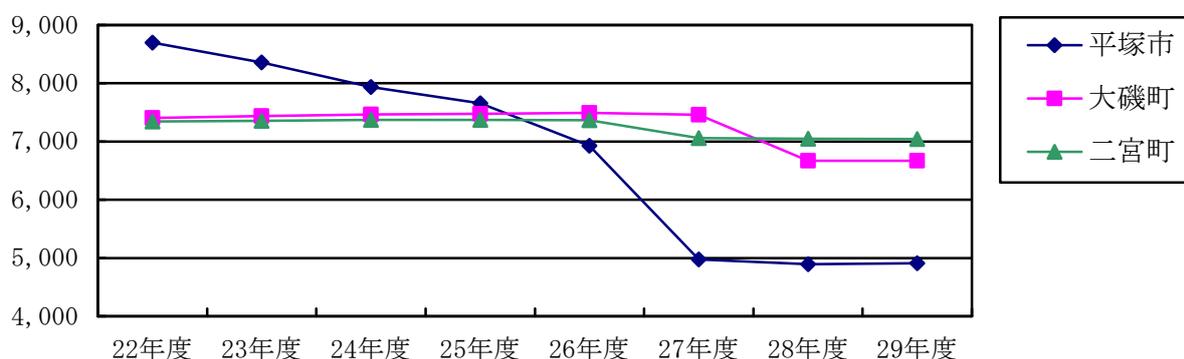
また、浄化槽、昆虫などに関する苦情や相談に対応したほか、快適な生活環境の確保を推進するための個別相談を実施しました。

(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

設置基数				監視指導件数
平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
4,909	6,669	7,042	18,620	13

(年度別浄化槽設置数の推移)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
平 塚 市	8,696	8,357	7,937	7,656	6,928	4,975	4,893	4,909
大 磯 町	7,402	7,435	7,463	7,474	7,495	7,457	6,672	6,669
二 宮 町	7,344	7,357	7,373	7,373	7,364	7,059	7,047	7,042
合 計	23,442	23,149	22,773	22,503	21,787	19,491	18,612	18,620



(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
27	29 (15)	10

※ () 内は営業所の所在地が管内にある営業所数 (内数)

(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
事 務 所	19	2	1	22	13
百貨店・店舗	16	3	2	21	1
学 校	17			17	13
旅 館	6	1		7	1
興 行 場	6		1	7	1
そ の 他	6			6	
合 計	70	6	4	80	29

(4) 建築物衛生管理業者登録数及び監視指導状況

区 分	登録営業所数	監視指導件数
清 掃 業	9	4
空 気 環 境 測 定 業	2	
飲 料 水 水 質 検 査 業	2	1
飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	27	11
排 水 管 清 掃 業	1	
ね ず み ・ 昆 虫 等 防 除 業	14	8
総 合 管 理 業	15	4
合 計	70	28

(5) 水道施設数及び監視指導状況

区 分	施 設 数			監視指導 件 数
	大磯町	二宮町	合 計	
専 用 水 道	2	1	3	3
簡 易 専 用 水 道	31	26	57	1
小 規 模 受 水 槽 水 道	56	44	100	1
合 計	89	71	160	5

(6) 温泉施設数等及び監視指導状況

区 分	施 設 数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
源 泉	3	1	2	6	6
温泉利用施設	6	1	1	8	11

(7) 住まいと環境衛生相談対応状況

ねずみ・昆虫	住 ま い	そ の 他	合 計
24	2	1	27

3 動物保護

＜環境衛生課＞

犬による危害防止を図るため、事故を起こした飼い主に対する飼育指導を実施しました。

また、犬、猫等に関する苦情、相談等について対応し、適正飼育の啓発、指導を実施するとともに、飼えなくなった犬、猫の引取りを実施しました。

(1) こう傷事故等の発生状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
件 数	11	1		12

(2) 犬、猫等の苦情相談等の対応状況

区 分	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	その 他	合 計
処理件数	4	1	46	48	99

(3) 飼えなくなった犬、猫の引取り頭数

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
犬	3			3
猫	2			2
合 計	5	0	0	5

4 毒物劇物、麻薬取扱施設等

＜環境衛生課＞

毒物劇物の製造・輸入業者や販売業者等施設の監視を実施し、適正な保管管理の徹底指導を実施しました。

また、湘南ベルマーレの試合における薬物乱用防止キャンペーン、小学生等に対する薬物乱用防止教室を実施するなど薬物乱用防止の推進を図りました。

(1) 薬物乱用防止キャンペーン等

月 日	内 容	会 場
7月29日	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動	平塚競技場

(2) 毒物・劇物販売業者数等

区 分	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上取扱者	特定毒物研究者	合 計
	一 般	農業用品目	特定品目	計					
平塚市	106	16	5	127	18	7	7	5	164
大磯町	9	1	1	11		1			12
二宮町	6	2		8			1		9
合 計	121	19	6	146	18	8	8	5	185

(3) 毒物・劇物販売業者等登録（許可）・届出取扱件数

区 分	毒物・劇物販売業				業務上 取扱者	特定毒物 研究者	合 計
	一 般	農業用品目	特定品目	小計			
新規登録申請	9			9			9
登録更新申請	21	4		25			25
変 更 届	8			8		2	10
廃 止 届	7			7			7

(4) 毒物・劇物監視指導状況

区 分	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上 取扱者	特定毒物 研究者	合 計
	一 般	農業用 品目	特定 品目	小計					
施 設 数	121	19	6	146	18	8	8	5	185
監視指導件数	45	3		48	4	2		1	55

(5) 麻薬監視指導状況

区 分	麻薬小 売業者	病 院	診 療 所 等	麻 薬 研究者	合 計
施 設 数	111	9	105	10	235
監視指導件数	58	10	1	9	78

(6) 免許事務取扱件数

区 分	新規申請	継続申請	廃止・返納届
麻薬取扱者	64	182	254

5 食品衛生

<食品衛生課>

地域の人々の食の安全を確保するため、営業施設に対する監視指導、食品の検査、食品衛生講習会等の事業を実施するとともに、違反、苦情への対応や食中毒に関する調査、再発防止指導等を実施しました。

(1) 食品営業施設数及び監視件数

ア 許可営業

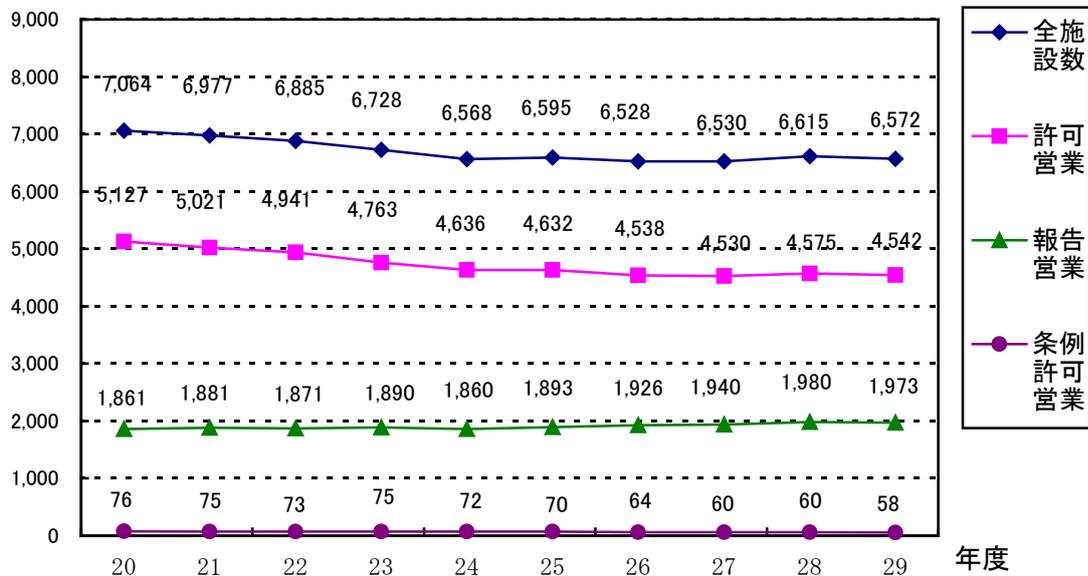
区分	施設数					監視件数	取扱件数			
	平塚市	大磯町	二宮町	移動営業	計		新規	更新	廃業	
法 許 可	飲食店営業	2,266	198	170	103	2,737	2,269	254	252	220
	菓子製造業	159	28	27	17	231	210	12	32	8
	乳処理業	1		1		2	3		2	
	乳製品製造業	3		1		4	5	1	2	1
	魚介類販売業	245	37	28	2	312	252	31	28	40
	魚介類競り売り営業	1				1	1		1	
	魚肉練り製品製造業	1	2			3	6		1	
	食品の冷凍又は冷蔵業	5	1			6	6		1	
	缶詰又は瓶詰食品製造業	3				3	5	1	1	
	喫茶店営業	322	18	18	13	371	166	27	57	53
	あん類製造業	3				3	15		1	
	アイスクリーム類製造業	2				2	4			
	乳類販売業	408	44	33	1	486	335	43	68	71
	食肉処理業	20				20	28	2	8	1
	食肉販売業	228	28	24	2	282	242	29	29	34
	食肉製品製造業	4				4	2		1	
	みそ製造業	1		2		3	5			
	しょう油製造業			1		1	2			
	ソース類製造業	2				2	2			
	豆腐製造業	8	1	1		10	12			1
	麺類製造業	12		1		13	17		1	1
	総菜製造業	23	3	4		30	38	2	1	3
	添加物製造業	5				5	4		1	1
	清涼飲料水製造業	5		1		6	11		1	
	氷雪製造業	1				1				
	氷雪販売業	3	1			4	2			
小計	3,731	361	312	138	4,542	3,642	402	488	434	
県 条 例	魚介類行商	12	1	1		14	6	1	12	3
	魚介類加工業	15	4	6		25	19	3	15	1
	発酵乳等販売業	17		2		19	6	2	17	3
	小計	44	5	9		58	31	6	44	7
合計	3,775	366	321	138	4,600	3,673	408	532	441	

※ 茅ヶ崎駐在事務所（食品衛生専門監視担当）の対象施設監視件数については、平成22年度から県生活衛生課で集計しています。

イ 報告営業

区分	施設数					監視件数	取扱件数	
	平塚市	大磯町	二宮町	移動営業	計		新規	廃業
給食施設	学校	14	2	1		17		
	病院・診療所	9	1			10	1	
	事業所	4	2			6		
	その他の	78	13	11		102	9	5
乳さく取業	76	24	11		111			
食品製造業	71	13	12		96	53	3	4
野菜果物販売業	183	28	24		235	52	7	11
総菜販売業	54	1	5		60	15		1
菓子販売業	356	39	44	4	443	110	8	15
食品販売業	664	98	87	5	854	271	52	37
添加物の製造業	1				1	1		
添加物の販売業	2	1			3	0		
器具・容器包装、おもちゃの製造業又は販売業	30	1	4		35	12	1	2
合計	1,542	223	199	9	1,973	650	81	75

ウ 営業施設数の推移



エ 食品衛生夏期・年末総点検

(ア) 動員数及び施設点検数

区分	動員数 (延人数)		施設点検数 (延べ数)	
	食品衛生監視員	食品衛生指導員	食品衛生監視員	食品衛生指導員
夏期 (7月1日～8月31日)	201	143	1,529	856
年末 (12月1日～12月28日)	82	138	805	895
合計	283	281	2,334	1,751

(イ) 食品の点検数

区分	食品点検数	収去件数	違反件数
夏期 (7月1日～8月31日)	7,645	30	2
年末 (12月1日～12月28日)	4,025	12	2
合計	11,670	42	4

(2) 食品等の収去検査

	検体数	検査結果	
		適	不適
一般食品	118	118	
乳肉食品	27	26	1
合計	145	144	1

(3) 食中毒

食中毒が疑われる事例に対し、原因究明のため迅速かつ的確な調査を実施し、食品業者に適切な措置を講ずるための指導を行いました。

ア 食中毒発生状況

発生日	発生場所	摂食者数	患者数	原因食品	病因物質	措置状況
9月28日	飲食店営業施設	4	1	サンマの刺身	アニサキス	営業停止 (2日間)

イ 過去5年間の食中毒発生状況（管内）

区分	発生件数	摂食者数	患者数	食中毒警報発令期間	日数	ノロウイルス食中毒 警戒情報発令期間
25年度	4	6	5	7月18日～10月22日	97	12月9日～3月31日
26年度	3	60	43	7月23日～10月22日	92	11月17日～3月31日
27年度	3	10	7	7月23日～10月14日	84	11月2日～3月31日
28年度	5	395	116	8月3日～10月28日	87	10月31日～3月31日
29年度	1	4	1	7月27日～10月19日	85	12月4日～3月31日

(4) 違反処理

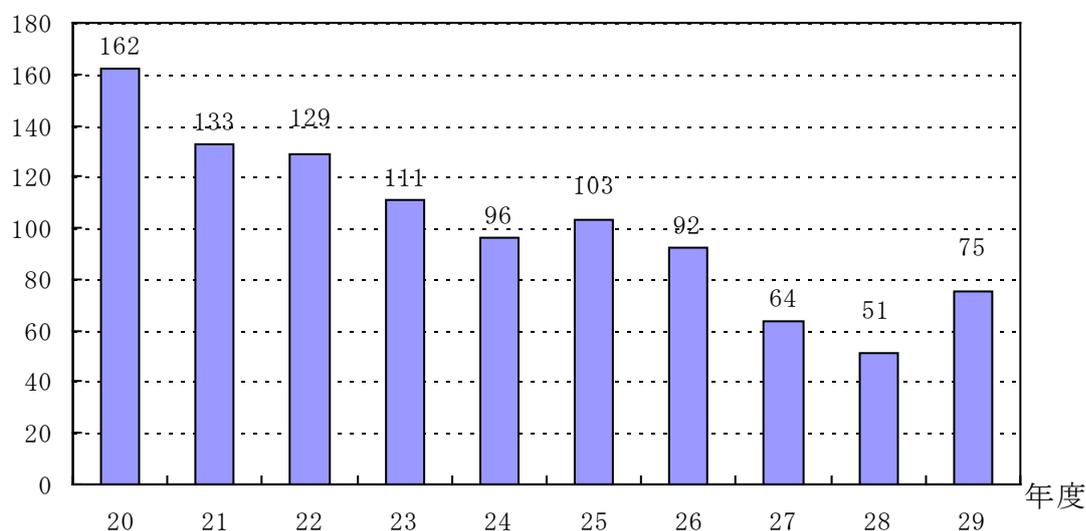
判明日	品名	違反内容	措置
5月22日	ソフトクリーム	成分規格（大腸菌群）	再発防止を指導（残品なし）
7月5日	焼麩	表示（添加物）	管轄する自治体に通報
7月13日	榎茸味付 （元祖の野生種なめ茸）	表示（製造者）	管轄する自治体に通報
12月7日	干し柿	表示（添加物）	管轄する自治体に通報
12月27日	名古屋名物手作りういろう 紅白ういろう	表示（添加物）	管轄する自治体に通報

(5) 苦情処理

ア 苦情内容

		異物	かび	腐敗・ 変敗	異味・ 異臭	不衛生 取扱	容器	有症 苦情	その他	合計
食 品	乳・乳製品、乳類加工品									
	魚介類及びその加工品	1			1			2		4
	肉類・卵及びその加工品	2								2
	穀類及びその加工品	1		2			1			4
	豆類及びその加工品									
	野菜類及びその加工品	2	1							3
	菓 子 類	7	4		1	1				13
	複 合 調 理 食 品	9	2	1	2		1	17	1	33
	そ の 他							2	2	4
	小 計									63
施設等に関するもの						11			1	12
合 計		22	7	3	4	12	2	21	4	75

イ 苦情処理件数の推移



ウ 苦情内容別の推移

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20年度	有症苦情	そ の 他	異 物	不衛生取扱	異味・異臭
21年度	有症苦情	そ の 他	異 物	不衛生取扱	異味・異臭
22年度	有症苦情	そ の 他	不衛生取扱	異 物	異味・異臭
23年度	有症苦情	そ の 他	不衛生取扱	異 物	異味・異臭
24年度	有症苦情	異 物 / そ の 他	不衛生取扱	不衛生取扱	腐敗・変敗
25年度	有症苦情	異 物	不衛生取扱	そ の 他	異味・異臭
26年度	異 物	有症苦情	そ の 他	不衛生取扱	異味・異臭
27年度	異 物	有症苦情	そ の 他	不衛生取扱	腐敗・変敗
28年度	有症苦情	異 物	不衛生取扱	そ の 他※	異味・異臭
29年度	異 物	有症苦情	不衛生取扱	か び	異味・異臭/そ の他

※ その他の内訳：騒音、期限表示等

(6) 食品衛生講習会

ア 営業者等講習会

食品衛生責任者、営業者等の資質を向上し、営業者による自主管理の一層の徹底を図るため、講習会を実施しました。

内 容	対 象	講師	会 場	開催回数	参加者数
食品衛生・食中毒予防について	食品衛生責任者・調理従事者等	当所食品衛生監視員	平塚保健福祉事務所等	33	2,096

イ 消費者講習会

食中毒発生の未然防止、食品衛生意識の向上のため、消費者を対象とする講習会を実施しました。

内 容	対 象	講師	会 場	開催回数	参加者数
食品衛生・食中毒予防について	食生活改善グループ等	当所食品衛生監視員	平塚保健福祉事務所	3	86

資料

- 1 平塚保健福祉事務所の沿革等
- 2 市町における健康診査実施状況
- 3 職員研究論文等一覧

1 平塚保健福祉事務所の沿革等

(1) 沿革

年月日	平塚保健所	中福祉事務所
昭和17年12月8日	現在地に保健所を開設し、所管区域を平塚市及び中郡の1市5町14村とする。	
23年1月1日	昭和22年9月に全面改正された保健所法が施行され、保健所業務を開始する。	
26年6月12日	秦野町ほか4か村を所管する秦野出張所を置く。	
26年10月1日		社会福祉事業法の施行に伴い、中地方事務所の庁舎内に庶務課、保護課の2課体制により、中郡を管轄地域とする中福祉事務所が設置される。
28年4月1日	秦野出張所が支所に昇格する。	
30年7月1日		行政組織規則の一部改正により、次長制が廃止され、保護課が福祉課となる。
32年4月1日	当所に神奈川県精神衛生相談所を併設する。	
33年4月1日	秦野支所が保健所に昇格し、所管区域が変更（平塚市、大磯町、二宮町）になる。	
35年4月1日	神奈川県精神衛生相談所を神奈川県平塚精神衛生所と改称する。	
39年9月24日	現在地に庁舎を改築する。	
40年10月1日	精神衛生法の改正により、平塚精神衛生相談所を廃止する。	
42年6月2日		行政組織規則の一部改正により、次長制が施行され、庶務課が総務課に、福祉課が保護課となる。
44年7月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、中福祉事務所が湘南福祉事務所となり、総務課が管理課となるとともに、所管区域が三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町、二宮町の4町となる。
45年7月16日	行政組織規則の一部改正により、管理課、保健予防課、衛生課、保健婦室の3課1室となる。次長制を施行する。	
46年6月1日	中郡二宮町百合ヶ丘に二宮保健ステーションを開設する。	

49年8月1日	行政組織規則の一部改正により、衛生課が環境衛生課と食品衛生課となる。	行政組織規則の一部改正により、管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2課3係体制となる。
54年6月1日	管理係、指導係を廃止し、管理調整班、企画指導班とする。	
55年8月1日	保健予防課、環境衛生課、食品衛生課、保健婦室の各係を廃止し、班制を施行する。	
56年6月1日		行政組織規則の一部改正により、保護課が福祉課となり、保護係と福祉係が廃止される。
57年6月1日		行政組織規則の一部改正により、管理係が廃止される。
58年6月1日	行政組織規則の一部改正により、保健婦室が健康指導課となる。	
59年4月1日	二宮保健ステーションを二宮町に移管。行政組織規則の一部改正により、試験検査部門が茅ヶ崎保健所に統合される。	
60年4月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、湘南地区行政センターと湘南福祉事務所が統合され、湘南地区行政センター福祉部となり、地域福祉課、生活福祉課の2課体制となる。所管区域のうち、三浦郡葉山町が横須賀三浦地区行政センターの所管となる。
平成3年8月1日	平塚保健所庁舎建替工事に伴い、仮庁舎（平塚市豊原町2の21）に移転する。	
5年4月1日	新庁舎完成に伴い、現在地に移転する。行政組織規則の一部改正により、保健衛生部及び環境衛生部が設置され、2部5課となる。	社会福祉関係8法の改正により、身体障害者福祉法及び老人福祉法関係事務が町に委譲される。
平成9年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、平塚保健所と湘南地区行政センター福祉部が統合され、平塚保健福祉事務所（併せて平塚保健所、中福祉事務所）となり、管理課、企画調整室、保健福祉部（保健福祉課、保健予防課、生活福祉課）、生活衛生部（環境衛生課、食品衛生課）の2部1室6課体制となる。中福祉事務所の所管区域のうち、高座郡寒川町が茅ヶ崎保健福祉事務所の所管となる。	
19年6月1日	行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2部7課体制となる。	
20年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。	
26年4月1日	行政組織規則の一部改正により、秦野保健福祉事務所を平塚保健福祉事務所秦野センターとして統合する。	
29年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、茅ヶ崎保健福祉事務所が廃止され、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所が設置される	

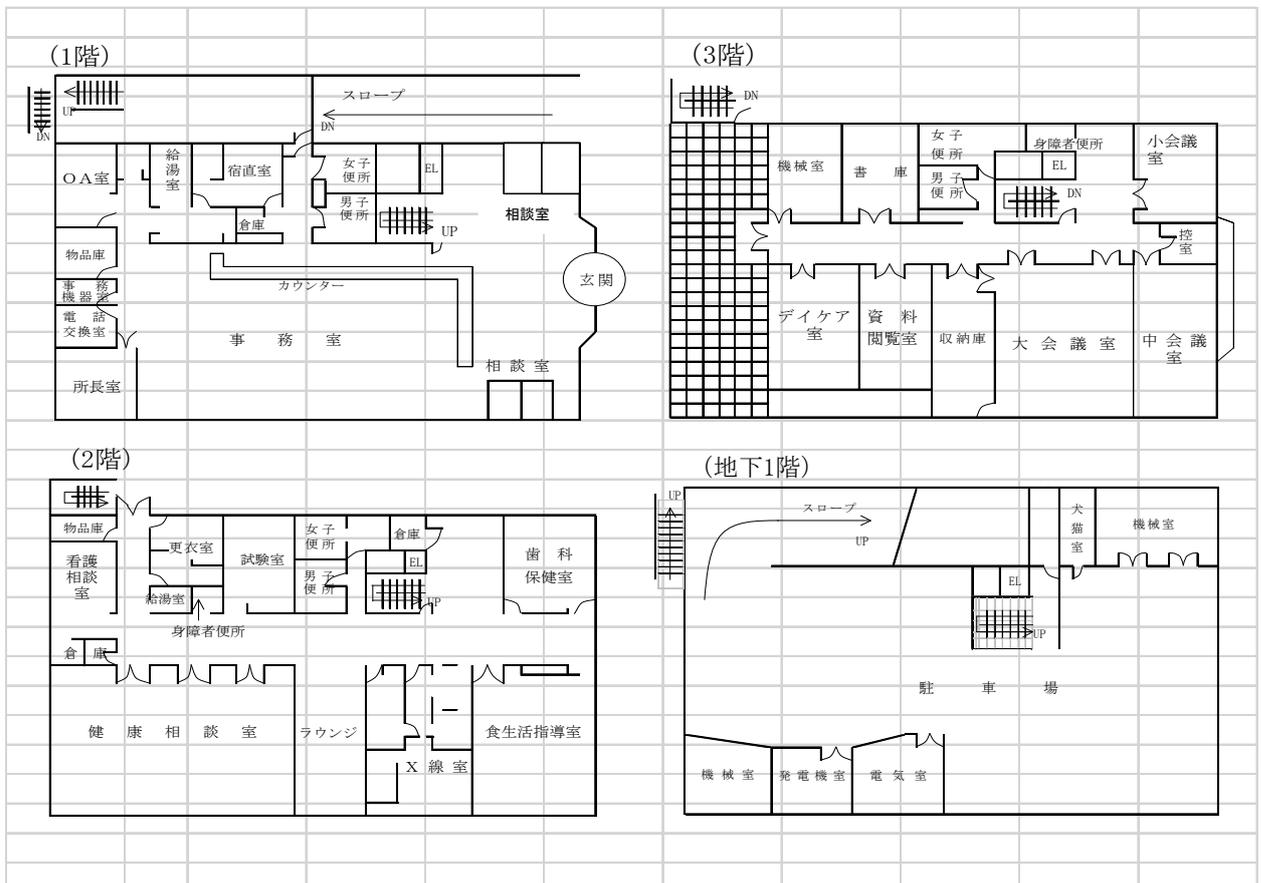
(2) 平塚保健所歴代所長名

初代	山口 大九郎 (S17. 12～ 18. 7)	15代	長谷川 進 (61. 4～ 63. 3)
2代	杉本 良次 (18. 7～ 19. 9)	16代	成瀬 道彦 (63. 4～H元. 3)
3代	屋宮 文章 (19. 10～ 27. 7)	17代	岡本 耕 (H元. 4～ 11. 3)
4代	林 秀 (27. 7～ 31. 9)	18代	前坂 機江 (11. 4～ 11. 5)
5代	高口 保明 (31. 10～ 34. 6)	19代	宝田 正志 (11. 6～ 13. 3)
6代	杉本 良次 (34. 7～ 38. 6)	20代	堀井 昌子 (13. 4～ 15. 3)
7代	山田 健次郎 (38. 6～ 40. 9)	21代	山徳 みゑ (15. 4～ 16. 3)
8代	成田 功 (40. 10～ 43. 3)	22代	前坂 機江 (16. 4～ 19. 3)
9代	広瀬 達之 (43. 4～ 47. 9)	23代	鈴木 周雄 (19. 4～ 22. 3)
10代	渡辺 良一 (47. 10～ 49. 7)	24代	清水 博 (22. 4～ 23. 5)
11代	杉本 博俊 (49. 8～ 55. 7)	25代	竹村 隆夫 (23. 6～ 27. 3)
12代	佐久間 正美 (55. 8～ 57. 5)	26代	南出 純二 (27. 4～ 29. 3)
13代	小宮 弘毅 (57. 6～ 60. 3)	27代	深澤 博史 (29. 4～ 30. 3)
14代	衛藤 繁男 (60. 4～ 61. 3)	28代	長谷川 嘉春 (30. 4～)

(3) 土地建物

ア 土地	保健福祉事務所敷地	1,481.03㎡
イ 建物	保健福祉事務所庁舎 (H5. 3. 15完成)	
	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建	延床面積 3,551.36㎡

(4) 庁舎配置図



2 市町における健康診査実施状況

(1) 母子保健関係

ア 4か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,086	1,983 (95.1)	1,796
平塚市	1,749	1,655 (94.6)	1,504
大磯町	205	203 (99.0)	176
二宮町	132	125 (94.7)	116

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)									合計
	発達問題	体重増加・発育	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	泌尿器科疾患	その他	
合計	8	21	1	1	1	6	29	7	15	89
平塚市	6	18			1		24	4	9	62
大磯町		1	1	1		2	5	3	5	18
二宮町	2	2				4			1	9

イ 1歳6か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,251	2,161 (96.0)	1,928
平塚市	1,859	1,774 (95.4)	1,598
大磯町	202	197 (97.5)	183
二宮町	190	190 (100.0)	147

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)										
	発達問題	発育問題	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	腎疾患 疑い	その他	精神面	合計
合計	10	12	1	0	0	2	5	4	4	188	226
平塚市	8	8				2	5	3	4	153	183
大磯町			1					1			2
二宮町	2	4								35	41

ウ 3歳児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,285	2,164 (94.7)	1,885
平塚市	1,908	1,800 (94.3)	1,563
大磯町	199	196 (98.5)	181
二宮町	178	168 (94.4)	141

区分	要精検・要医療・要観察の内訳（延人数）										
	発達問題	発育問題	眼科疾患 ・視覚	耳鼻疾患 ・聴覚	呼吸器 循環器	整形外科 疾患	皮膚疾患	尿検査・ 腎疾患	その他	精神面	合計
合計	1	34	1	0	2	3	3	69	2	99	214
平塚市	1	31				1	2	66	1	73	175
大磯町		2	1		1		1	3	1	1	10
二宮町		1			1	2				25	29

(2) 歯科保健関係

ア 1歳6か月児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類（内訳）				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,251	2,161 (96.0)	30 (1.4)	26	4	0	0	102	0.05
平塚市	1,859	1,774 (95.4)	28 (1.6)	25	3			94	0.05
大磯町	202	197 (97.5)	2 (1.0)	1	1			8	0.04
二宮町	190	190 (100.0)	0 (0.0)						0.00

イ 2歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類（内訳）				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,266	1,291 (57.0)	46 (3.6)	39	7	0	0	136	0.11
平塚市	1,899	957 (50.4)	35 (3.7)	29	6			106	0.11
大磯町	202	184 (91.1)	6 (3.3)	6				13	0.07
二宮町	165	150 (90.9)	5 (3.3)	4	1			17	0.11

ウ 3歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型	D型 (再掲)
合計	2,285	2,162 (94.6)	273 (12.6)	198	65	2	8	44
平塚市	1,908	1,799 (94.3)	239 (13.3)	172	59	2	6	39
大磯町	199	195 (98.0)	23 (11.8)	15	6		2	5
二宮町	178	168 (94.4)	11 (6.5)	11				

区分	う歯総数	う歯の状況		一人平均 う歯数
		未処置歯 数	処置歯数	
合計	925	643	282	0.43
平塚市	817	554	263	0.45
大磯町	79	66	13	0.41
二宮町	29	23	6	0.17

(注) う蝕の型別分類

- A 型: 上顎乳前歯部のみ又は乳臼歯部のみとう蝕がある者
- B 型: 上顎乳前歯部及び乳臼歯部とう蝕がある者
- C₁型: 下顎乳前歯部のみとう蝕がある者
- C₂型: 下顎乳前歯部と他部位とう蝕がある者
- D 型: 6本以上う蝕がある者(神奈川県独自の分類で、重度う蝕児として再掲する。)

3 職員研究論文一覧

職員の研究会・学会等発表

演題名	発表者名	月 日	会 場	研究会等名称
神奈川県における「地域口腔ケア連携推進事業」の取り組み（第3報） ～モデル病院への口腔ケア支援結果～	保健福祉課 田村 彩	6月1日	山形テルサ	日本口腔 衛生学会
児童養護施設における3年間にわたる歯科 保健指導の取り組みについて	保健福祉課 田村 彩	11月30日	横浜情報文化 センター	神奈川県公衆 衛生学会

平成29年度 平塚保健福祉事務所年報

平成 30 年 9 月 発行

編集・発行 神奈川県平塚保健福祉事務所



神奈川県

平塚保健福祉事務所

平塚市豊原町 6-21 〒254-0051 電話 0463(32)0130 (代)

URL <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2p/index.html>